

Where there is no Vision, the people perish

北九州信徒聖書学校

創立35周年記念特集号

2020年12月

第130号

על-פלי מים

流れのほとり

連絡先 〒807-8691 北州市八幡南郵便局私書箱 26 号 本部 TEL&FAX 093(692)8592
所在地 〒807-0004 北州市小倉北区鍛冶町 2-3-13 北九州財団法人 YMCA 内
HP <http://1985bible-school.com> E-Mail b_school1985@yahoo.co.jp

聖書を学ぶ喜び

新しい学校が始まります。北九州の、この地域で最初の二十五名の生徒さんが入学された。よくお集りになった。その意気盛んなことは、大変素晴らしいと思います。この学校の一つの願いは、「信徒の自立」ということであるそうです。自主独立の信徒ができる。ちよつと牧師をヒヤヒヤさせるような言葉です。

ああ、面白い！

私は講演題を「聖書を学ぶ喜び」と致しました。聖書学校では必ずしも聖書そのものだけを学ばれるわけではありませんが、一貫して、関心は聖書に注がれます。聖書を読む、聖書を学ぶということには面白いことです。これは、とても大切なことです。そのためには講師の先生方も面白い話をしなければダメです。教室では言葉だけの勝負です。言葉だけのやりとりの中で「ああ、面白い！」と語る方も聞いている方も言えるようになるという。面白いものを面白いと思う。そういう心が磨かれていくことが大事です。毎週金曜日、学校に行くと面白いことが

加藤 常昭

ある・・・そういうふうには波が広がります。「面白い」という言葉は、英語でインタレストイング (interesting)、ドイツ語でも同じ言い方です。この言葉の中には、インタレスト (interest) という言葉が入っています。インタレストはいろんな翻訳が可能です。一つは「利益」と訳せます。もう一つは「関心」です。感心するという意味でなく、関心という字に心という字です。両方とも、面白い、面白いということにとつて大事です。面白くない話というのは退屈な話です。退屈、ドイツ語で言うところ、とても面白い言葉でして、ラング (lang) という言葉が初めに出てきます。これは英語のロング (long) 長いという意味です。その後にヴァイレ (weil) という言葉が出ています。ヴァイレというのは、時間のある長さを示します。ある使い方をすると、時間の隙間 (スキマ) となります。長い時間には隙間ができる。隙間というのはからっぽという意味です。充実していないのです。からっぽの時間が長く続くと退屈するん

です。「長い」というのは、相対的な時間です。皆さんも経験があると思います。結婚披露宴に招かれて、たった5分のスピーチでの、内容空虚な話を聞いていると、すぐく退屈します。特に、おながすいていて、いよいよご飯と思っっているのに、主賓の挨拶が長く続く。そのような時は参ってしまいます。

けれども、時々パツと聞き耳を立てる話が出てきます。なるほどそうだ、自分に何らかの意味で利益を、益をもたらす。すると興味を持ちます。そうしますと関心、関わりの心が生まれ、話は面白くなります。面白い勉強をする。面白い勉強をさせる方と面白く聞く事ができる両方の責任が生じて来ると思います。

聖書学校というのは、時の利益とか、どういうことに心が傾いているか。ここに一つの方向がすでに与えられています。聖書学校は、明らかに利益を与えるところです。絶対に損しないところ、損する学校だったら、やめた方がいいです。ちゃんと利益があるはずです。聖書学校に行ったら、株の買ひ方がうまくなるわけではない。どんな利益なのか、と言うことです。

私は今、F E B Cというキリスト教ラ

ジオ放送局から「聖書をあなたに」という番組を放送しています。随分とたくさんの方が聞いて下さるのです。最近、面白い経験を致しました。聖書の救いの中核を語るものとして「使徒信条」、「十戒」、「主の祈り」の三つについて一年かけて講解しました。そこで、この放送をカセットテープに取り直して、15000円で売り出した。約500組限定販売。びっくりしました。全部売れたのです。

「使徒信条」、「十戒」、「主の祈り」等の基本的なことについて、どんなに深い関心を持つておられるのかを表しています。ついこの間、キリストの復活について、というところを解説しました。「ハイデルベルク信仰問答」、いきなり「キリストがよみがえりになられた。ということ、私たちにどんな利益になりますか。」そこで使われている言葉は、本当に利益という言葉です。イエス・キリストがおよみがえりになって下さったお陰で、私たちはどんな得をしたか、と言っているのです。聖書は、そう言っているのです。聖書は、そういう神様が私たちに与えて下さった恵みの利益に溢れている書物です。だから面白いのです。株が儲かる話よりも、もっと面白くなるのです。

ところが残念ながら聖書はしばしば退屈な書物の代表になってしまっています。私はある地域の青年たちの集まりに行ってきました。講師として。そこで、報告がありました。我々の青年会は伝統的に聖書研究をやってきたが、どうも面白くない。それで最近は本音を語る会をするようになりました。続いて、ある教会の青年会がうちでも、どうも聖書研究だと退屈するので、しばらく聖書を読むのをやめました。私は、さすがに「ちよつと待ってください。どうしてそんなに平気で聖書研究をやると退屈、面白くないので、・などと言えんのですか。それはどうかしています。あなたがたの聖書の読み方が間違っていますよ。大体、聖書を読んでいて、本音が出ない。聖書には、神様の本音しか語られていません。神様のたてまえの愛なんか、どこも語られていません。神様が、どんなに私共のことを心配して下さっているかが書かれています。

先ほど、私は関心、関わりを持つ心と言いました。神様の事はなんか知らん。面白くない。と思っっているぐらいの時でも、神様は、私共に深い関心を持って見つめ続けられた。そして一番大事な時に、



神様の深い関心の表れとして、御子を送って下さったのです。聖書が面白くない、それは神様の愛をないがしろにする恐るべきことなのです。そのことに気付いて欲しいのです」そのような意味のことを話しました。

聖書は、神様が私共に深い関わりをもつて書いて下さった物語です。神学的な表現ですと、神の救いの歴史書です。神の救いの歴史を、神の救いの歴史の中にいる者が書きました。ここで、コリント人への第一手紙一五章を開けて下さいますか。新約聖書273ページ。いま、私

は聖書のページを申しました。私が育ちました吉祥寺教会の竹森満佐一牧師は、絶対に何ページとおっしゃらなかった。竹森先生、「何ページと言われなきゃ開けない、というような聖書の読み方をしては駄目だ」と言われるのです。聖書学校が始まりましたら、先生方はページ数を言わない方がいいかも知れません。

ところで、この一五章ですが、ここでパウロは、二節以下を読みますと「・・・言葉を固く守っておればこの福音によって救われる。・・・すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおり三日目によみがえったこと・・・そして最後にいわば、月足らずに生れたようなわたしにも、現れたのである。」とあります。

ひとりをつまみ

聖書学校が始まったらお聞きになるかもしれません。ここにはキリスト教会が出来た最初の頃の、教会の教えの原形が語られています。ギリシャ語を用いるとケリグマ (kerigma) と言います。教会の救いの宣言という意味です。教会が変わっても、牧師が変わっても、どの教会でも、これがイエス・キリストの救いだ、と言わなければならない事がちゃんと決まっている。パウロもその事を言ってい

ます。私は母から影響を受けて信仰を持った者です。母は救世軍の優れた伝道者の山室軍平という人を大変尊敬していました。「山室先生の放蕩息子の話は良かったねえ。」まるで、歌舞伎役者のようだと。ですから私も山室先生の文章を随分早くから読みました。その文章に「使徒行伝は、我々が書き継ぐべきものだ。」聖書が、まるで書き足りてないごとく、それを自分たちが書き足す。何だ、この先生、だいぶイカレている傲慢だ、と思いました。けれども、私の理解が間違っていたのです。聖書が語る、神の救いの物語というのは、一方では次から次へと受け渡すべきものです。みんなが共通のもの、誰もがそこに生きなければならぬ、全く客観的な真理です。

この客観的心理が語られると、その語る人を、パウロを、我々をも巻き込んでいくんです。その歴史の最初が聖書の話です。そして教会の歴史が続くんです。神の救いの御業はどうとう日本に、そして北九州まで来て、みなさん一人ひとりを捉えたんです。この学校でもそういう救いの歴史を勉強なさるでしょう。キリスト教史、教会史というものがありません。面白い、みな至るところに、自分と同じ

ような人たちの救いの物語が散りばめられている。聖書を開いている時には、ここに自分の話がある。ここに自分が捉えられているのだと読んでもちつともおかしくありません。主観的な読み方だ、などと退けることもありません。そういう関わり方、関心の持ち方でないところで、聖書をいかに学問的にいじくったって、聖書が解ったことにはなりません。そして、パウロはそうのように受け継いで自分の救いの言葉を、自分の言葉で語るようになりました。

皆さんが学校で学ぶ一つの目的は、私にはやはり、牧師の説教が良く理解できるようにするためだ、と思います。さつき本校の校長先生が、式辞の中でいみじくも言われました。ここで学んだからと言って、軽率にも牧師の説教を批判するな、上手に先手を打った、という感じでもあるんです。私も、その通りだと思います。

私的なことになりますが、私が東京神学大学に入る前に父親が脳溢血で死んだんです。死後、分かったことは事業の負債、借金だらけだということでした。それこそ破産することがどんなに悲惨なことかを味わいながら、神学校生活を始め

ました。ですから学費を親に出してもらうどころではありません。学費を稼ぐだけでない。自分の家の家計の助けになるような仕事をしながら勉強したんです。私の教会の長老の方が心配致しまして、学校の先生の口を捜して下さいました。その頃は、とてもものきな時代でありまして、旧制の高等学校を出ていきますと、先生の資格なくとも教えることが出来たんです。ある高等学校から英語とドイツ語を教えるように依頼があったんです。中学校時代の英語は戦時中です。英語の授業は片っ端からつぶされ、軍事教練に用いられた。敵の国の言葉なんか勉強する必要がない、という教育を受けたんです。ですから、教えるためには勉強するんです。そこでやっと少し英語がわかるようになった。当時の生徒さんにはいい迷惑だったかも知れませんが、聞いているより口に出す。教えた方が身に付く。そういうものなのです。ですから、皆さんも、ここで学ばれたら、語るようになっていただきたい。牧師の真似をする必要はありません。信徒して語れるようになって欲しいんです。

パツと手を離す

一体、どういう語り方を身に付けたら

いいのか、と言うことを勉強なさると思います。私は一つの事を申し上げます。原稿を一生懸命に書いて、その原稿が書き上がったなら説教の準備ができた。お話の準備ができた、なんて思わないで欲しい。それが一つです。それはどういう事かと言いますと、神学生も牧師も説教の準備という時に、一所懸命にいろんなものを調べて原稿を書きます。うっかりすると、日曜日の朝までかかって原稿を書いていきます。原稿が出来上がって、ポンと放り投げて、「できた！」と言うのです。これでは説教が出来たことにはならないのです。実際に講壇に上がった時にどうするかと言うことです。もし、原稿が取り上げられてしまう。どうしようもなくなってしまう。本当は、説教というのは原稿なしで出来るようになっていなければ駄目です。だからドイツの牧師は、原稿を金曜日の夜までに書き上げて、土曜日一日かかって暗唱する、そういう習慣を身に付けている人が沢山います。自分の語ることが、自分の体と心に沁み込むような、言葉の、密着した形での獲得をしなくてはいけないのです。日本の優れた説教者の中に宮川経輝、という人がいて、大阪教会という、今も建っている

大きな教会をつくりました。この人は熊本バンドの一人でありました。この宮川経輝という人が説教について教えた文章の中で、土曜日に、まだ書斎に閉じこもって、ふうふういつて説教の準備なんかやっているのは駄目だ、とおっしゃっているんです。「説教者たるもの、土曜日にはよろしく山を跋涉すべし」と書いてあるのです。ハイキングに行け、体を鍛えておけ、と書いています。ある記録を読むと、宮川牧師が説教している時に、陣取った反対者がいて、たいてい仏教のお坊さんなんかその中に混じっていて、宮川牧師が何か始めると、ノーノー叫ぶ。声を揃えてノーノーと言う。そんな時に、原稿を見てウロウロしては勝負にならないというのです。少なくとも、最初の一〇分間はノーという人を見据えて、真剣勝負の思いで語らなければ駄目だと書いてあるのです。ノーノーという人がいなくとも同じです。聞く人たちの顔を見ながら、自分の言葉を語り出していく。そうすると、これは本当に言葉が自分の中に入っていないと、出てこないのです。是非どうぞ、聖書の言葉を体の中に込み込むように読み取って下さい。そういう修練をしていただきたい。これは、やつ

ぱり修練です。何でこんなことを憶えなきゃならないのか、イライラしながら、それでも修練です。必ず道は開けるのですから。そういう勉強を是非していただきたい。

神の言葉を、私たち人間どもが語る時の恐れということを、よく知っていたきたいということです。しかも、その神の言葉を私の言葉が担うのだ、ということとを本当に大切にしていたきたいのです。神の言葉は私の言葉を通路にする以外に、その人に今、伝わらないんですから。伝わらなかったら、神の前に責任を取らなくてはならないでしょう。だから一所懸命に準備するんです。そしたら神様は必ず助けて下さいます。私のドイツの先生のルドルフ・ボーレン先生は今はハイデルベルク大学の先生ですが、よく言われた言葉に、土曜日の夜になっても説教ができないことがある。残念ながらよくあるんです。徹夜する牧師さんがいるんです。ボーレン先生は、そんな馬鹿なことばよせ、と言われるのです。土曜日なっても説教が出来なかったら、神様を信じて寝てしまいなさい。これは、とてもいい言葉だと私は思っています。私どもが最善の努力をしてみ言葉を追求

し、自分の言葉を求めていっても、必ず限界があると思うんです。そういう時に、祈りながら「神様、よろしくお願いします」と言つて、神様に委ねて眠ることは、かえってそこで道を開くんです。神様に自分を委ねる、という信仰の心にもう一度投げ返されるのです。朝、目覚めたら必ず神様が言葉を与えてくださるということです。そして、そこで礼拝が成り立っていくんです。その意味では、最善の努力をしながら、パツと手を離すということをよく知っておいた方がいいのです。

そのために神様の言葉を語るために一杯勉強するんです。神の言葉を語る、ということ、神学という言葉で言い表わすのです。英語でセオロジー (Theology) と言いますが、神様についてのロゴスです。神様について皆さんが語るようになる。そして神様が生きておられるということは、神様のその言葉と、それからその言葉についていく、存在をかけた証しをもって初めて証しされるのです。

あなたがたのうちに

最後に、一つの聖書の言葉をあげて終わりますが、コリント人への第一の手紙十四章四節、三節から読みます。「しかし

預言する者は、人に語ってその徳を高め、彼を励まし慰められる。異言を語る者は自分だけの徳を高めるが、預言する者は教会の徳を高める。」徳を高める、という言葉は、大工が家を建てるという意味です。私共が本当に神様の言葉を伝える時に、どういう事になるかというと、人の心而建ててあげるようになる。崩れていくからですね。立ち直れないからです。宗教改革というのはリフォームメイション(reformation)形をもう一度整える事だと申しました。そういう意味では本当に一人ひとりのリフォームが起るのです。崩れている心を、これでもかと再び打撃を加える。それは説教にならないのです。建てるんです。そして、教会がつくられるんです。だから、その人の徳を高めるのです。これが預言、私の今の言葉で言えば、人にわかる説教です。このコリント書によると、コリントの人たちは皆、そういう言葉をもって礼拝したようです。そこで皆の者が預言していると、どうなるかというところ、二十四節〜二十五節「しかし、全員が預言しているところに不信仰者が初心者が入ってきたら、彼の良心はみんなの者に責められ、みんなの者にさばかれ、その心の秘密がばかれ、そ

の結果、ひれ伏し神を拝み『まことに、神があなたがたのうちにいます』と告白するに至るであろう。」

私は、東京神学大学で実践神学という授業を教えています。実践神学というのは、教会が教会として行わなければならないこと、何であれ、それをどういうふうにやったらよいかを教える学問です。その実践神学の授業の時に、一度は必ずここを読みます。常に意識していなければならぬ神様から与えられた使命とは何か、という事を語っています。みなが、ちゃんと礼拝をしている。そこに信仰を持っていない人が来る、初めての人がやって来る。そうすると自分の良心が責められる。自分の罪に気付くという事です。他の誰が悪かったのでもない。私が悪かったと膝をかがめて認める。そして神様はおられるのだ。どこに？あなたの方の中におられることを認めざるを得なくなる、ということです。

いらつしやいよ！

この聖書学校は、北九州伝道の幻の中につくられたと聞きます。伝道とは何か。神様が生きておられるということを証しすることです。その生きておられる神様に出会うことによって、崩れている人の

心が建ち上がってくる、と言うことです。皆さんは、いろいろな教会堂をお持ちでしょう。小さな教会堂、一つの家で礼拝をなさっておられるところもあるかも知れません。そこにキリストの救いにまき込まれた者たちが集まっている、人の心而建てる言葉を捜して礼拝している時に、必ずその言葉に心を打たれる人が出てきます。私は罪ある者、私も悔い改めなければなりません。そして、あなたがたの中におられる神様の者になりたいと自分も願うようになるのです。そうやって私共は神が生きておられることを証しするのです。伝道というのはそういうものです。神様なんて生きていくかどうかかわからない。なんていうひとに人に「いらつしやいよ！私たちの教会の礼拝に出てごらんなさい。兄弟たちの言葉を聞いてごらんなさい。」そこに神が生きておられることがわかるはず。このことなくして、伝道は成り立ちません。

1985年、今から35年前、本校の開校記念講演会講師としてお招きした加藤常昭牧師の講演録である。35年経て読み直しても、聖書を学ぶ意味と真理は変わらないことに気付かされる。加藤常昭牧師は、日本を代表する説教者、神学者である。

祝創立三十五周年

社会医療法人栄光会・名誉会長

香住丘キリスト福音教会・協力牧師

下稲葉 康之

創立三十五周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

極めて地道なこの働きを継続されるには、必ずや、明確な使命とご苦労が伴ったに違いないと拝察いたします。

私は個人的に、この「信徒」聖書学校の名称に、特別な親密さを感じます。大学二年生の時に、私を信仰に導いてくれたドイツ人宣教師の伝道戦略は、徹底して「青年伝道と信徒教育」でした。週三回は路傍に立つての路傍伝道、それに続く「福音集会」、一回一週間開催で年三〇四回の天幕集会・私たち数人は証しやメッセージ奉仕に駆り出されました。そして、春季、夏季休暇には、公民館や旅館など三〇四泊しての「聖書研究会」毎年開催され、前もって私たちに発表課題が割り当てられました。やがて私たち男衆三〇五人が一軒家の借家で共同生活をして、朝、夕当番制で炊事を担当し・まさに「聖書学校」まがいの生活を送ったこととなります。

振り返って、教わったことは、「キリストの福音」でした。また、四十年間、栄光病院で働き「生きる、死ぬる」というせめぎ合いの究極の状況にある末期患者さんたちに、「キリストの福音が「栄え喜びに満ちた喜びに踊っています」と感動を与える状況を目のあたりにしてきました。私自身が、改めてホスピスの現場で信仰の訓練を受け、やがて「ホスピス わが人生道場」と痛めるようになりました。私自身の小さな経験からも、「信徒」聖書学校の持

つ使命と役割は極めて重いものがあると考えます。この「北九州信徒聖書学校」の働きが、これから益々主に祝用されることを心から願い、お祈り致します。

台北駐福岡経済文化辦事處

處長 陳 忠正

創立三十五周年を迎え、我らの主イエス・キリストの御名をもつて心より祝賀いたします。聖書は創造主なる神様が人類に与えたもうた偉大な賜物として、創造の時から、今日に至るまで永遠で不変な真理として、我ら人類社会を導き、良心に教訓を与えてまいりました。

この人類の偉大な賜物が日本に与えられていますことは、神様の祝福であり神様が日本を愛して下さる証拠でありましょう。さらに北九州の皆様が、この賜物の聖書を神様の御言葉として受けて学び、研究することはどんなに価値のあるものか、本当に尊敬すべきであります。

時は流れ、新しい時代を迎える時点に私たちは生きています。これから五十年間、或いは百年間も、もつと激変することになるでしょう。このような時代において人類の希望と行くべき方向の提示はやはり、聖書の真理であると確信しています。

さらに、人類救済の大きな歴史を導いてこられた聖霊は今、アジア地域において働いておられ、特に日本と韓国と台湾においてその働きが顕著に現れております。このような意味において、霊と共にアジア伝道に忠実に仕えるべき使命がこの学校にあると信

じます。「死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、私はあなたにいのちの冠を与える。」(黙示録2章10節)。

今日まで導いて下さった神様が、貴校をさらに大きく用い、貴校が暗黒の時代における灯台のように時代を照らす器として、仕える信じます。理事長と校長先生をはじめ、先生方、生徒の皆様がこれからの使命を忠実に果たす学校でありますようにと祈り、祝辞の言葉とさせていただきます。

韓国仁川桂山中央メソジスト教会

主任牧師 崔 信成

創立三十五年を心よりお祝い申し上げます。

聖書学校の素晴らしい働きに関しては、今年六月に亡くなりました。たわたしの父であります崔世雄牧師より、よく聞いておりました。

さらに、日本と世界のために、北九州信徒聖書学校は一、聖書的な学校。二、霊的な学校。三、実践的な学校として、その教えと体験を深く、常に調和のとれた品性と人格をもつ伝道者を養成する聖書学校になり、主に豊かに用いられるように願っております。

元日本キリスト兄弟団宣教師

ドイル・ブック

私たちは神の言葉によって信仰を築き上げます。私たちは聖なる力によって、その信仰を分かち合います。あなた方と一緒にいたことを嬉しく思います。創立三十五周年おめでとうございます。

(米国カリフォルニア・アップランド市在住)

北星学園理事長・学園長

古川 敬康

創立三十五周年を心からお慶び申し上げます。

三十五年前、理事長の山口晶久先生は、中学卒という一事をもって聖書学校や神学校の門を閉ざされ「私のような者は学ぶことは出来ないのですか」と涙を浮かべるひとりの女性から、その神に訴え祈る思いを打ち明けられました。

彼女の頼る他の先生方が、いわば高校以上の学歴という度の入った眼鏡がないと神学的な学びや研究はできないと断られたのは対照的に、山口先生は、学びを志す「願い」があれば必要かつ十分であるという視点に立ち、主より福音主義に立つ信徒訓練養成学校を北九州に創設する使命を賜られ開校されました。

イエス様の時代の人々は献金にあたってはその額に目をやりましたが、イエス様は、二レプタを献げた女性には明日の糧も無いという見えないものに心を留め称賛されました。わたしたちにとって、イエス・キリストの大宣教命令に応える者へと成長するのに大切なものは、学歴のように見えるものというより、むしろ「志」のように見えないものであることを創立の物語から教えられます。

この祝賀は、イエス様の十字架上の喪失と同じ体験をされたあの女性のように、見えない孤独や不安、それに生きづらさを抱える身近な人々に仕え福音を伝えたいという願いから学びを志す信徒の方々に、多くの先生方が応えてこられたことの証と存じます。

この佳き時をふり返り、神のみ名を賛美申し上げますと共に、これからも北九州信徒聖書学校の上に、主の恵みとシャロームの平和とがございように心からお祈り申し上げます。

北九州信徒聖書学校

理事長 山口 晶久

憂いに満ちた素朴な問いかけでありました。「わたしは学ぶことが出来ないのですか？」と。詳しくは語られませんでした。恵まれない環境下で少女期を過ごされたことは伺えました。生きるため生活に追われ気が付いたら、この世の教育を受ける機会を失っていたと。しかし、幸いにもイエス・キリストと出会い、生ける神ご自身にふれられた。そして、生かされている恩寵を知れば知るほどに、神の言葉である聖書をもっと深く学びたいと志され、学んで神様のお役に立ちたいと願われたのです。

そこで、聖書学校、神学校で学ぼう・・・そう決心し、それらの学校に問い合わせた。しかし、最低でも高卒の学力が求められ、学ぶことができない悲痛さが叫びとなり、私への訴えとなったのです。世の学校で十分な教育を受けたいと望んだが、彼女の環境が許さなかった。この飾らないご婦人の素朴な問いかけ、本校の創立の出来事でありました。

形なく何もないカオス（混沌）の世界に、神様は人々の心に働きかけ、その願いを起こさせ、そして実現に至らして下さる。一地方のまことに小さな宣教の働き、本校の働きは神様のご意志とご計画によって始められました。ちょうど「流れのほとりに植えられた木のように時が来ると実を結ぶ・・・」（詩編1篇3節）にありますように、この小さな始まりも神様の恵みを得て、植えられ、少しづつ根を張り、葉が茂り、実を結んでいくことを強く願うのです。皆様の温かいご支援とご加禱に支えられて、三十五周年を迎えました。深い感謝を申し上げます。

初代 校長 河田 一雄

創立三十五周年、心からお祝い申し上げます。山口先生をはじめ、諸先生のご奉仕により、多くの諸兄弟が聖書を学ばれ、それぞれの教会でよきご奉仕なさておられますこと、感謝にたえません。主が兄弟を御業のためにお用いになっておられますことと存じます。願わくは主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の御交わり、御校の上に、在校生、卒業生、諸先生の上に豊かに在らんことをお祈りします。（校長1985～1998年）

日本イエス・キリスト教団小倉教会 森上 悦子

「御言葉にはあなたがたの魂を救う力がある。」（ヤコブ一章二十一節）創立三十五周年を神様に祝福の内に迎えられることを心からお慶び申し上げます。理事長の山口先生の設立動機をお聞きし深く心に残っております。亡き夫森上洋介（二代校長・元日本イエス・キリスト教団小倉教会牧師）もその尊いご奉仕の中に加えていただいた事を感謝申し上げます。

主人洋介は、信徒学校のある日は喜びとして出かけておりました。ちよつと薄暗い道の先にある学び舎に私もついて行つた事もありまた教会員の方も学ばれた方もありました。

この世の移り変わりの激しい中ではありますが、この学校とこの学校にご奉仕下さっている先生方の上に今後とも神様の豊かな祝福とお導きがありますようにお祈り申し上げます。

（故森上洋介校長 2000～2005年）

三代 校長 野村 幸生

今はもう主のもとに召されましたが、第二代の校長、森上洋介先生のあとを継がせていただき、私は、本校の校長という務めを、

2007年度からさせていただいております。しかし、「私の先祖がたどった日々、生きた年月には及びません」(創世記47・9)【新改訳2017年版】との思いをいつも感じさせられております。

本校創立当初の初代の校長であられた河田一雄先生は、本校の基礎を確立してくださり、北九州や下関を中心として、多くの方々に学ぶ機会を与えて下さいました。次の森上洋介先生は、講義や礼拝等のカリキュラムについての実務を行う「教師会」を始めてくださり、今もそれを受け継がせていただき、教師会の先生方にご協力、ご支援をいただきつつ、微力ながら、務めさせていただいております。

創立当初より講義の録音録画を柴田ご夫妻が長年ご奉仕くださり、また、同窓会の方々が、入学式や卒業式のあとの懇親会や同窓会主催の講演会などを企画してくださり、それぞれに本校の働きにご協力くださっていることを心より感謝いたします。

創立以来の本校の特色は、この北九州の地で、信徒のために、超教派として、いろいろな立場の諸先生方から学ぶことができるということです。私自身も日頃から神学的には違う立場であっても、その違いはきちんと認識しつつも、いろいろなことを学ばせていただいております。多くの方々のご理解、ご支援をいただいで、本校が三十五周年を迎えられたことを心より感謝いたします。今後もさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

「最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての尊ぶべきこと、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことに、また、何か徳とされることや称賛に値することがあれば、そのようなことに心を留めなさい。」(ピリピ4・8)

(香住ヶ丘キリスト福音教会牧師、校長2006年)

私と北九州信徒聖書学校

柴田 常雄

私は下関ルーテル教会で洗礼を受けました。数年して小倉で働くようになり、日曜日は下関ルーテル教会の礼拝に出席しながら、週日は北九州の様々な教会の祈禱会や集会に出席するようになりました。北九州復興教会の祈禱会・特別集会やバプテスト教会の青年修養会など教派を超えたものです。そこで聴く恵みのメッセージを多くの方々にも聴いてほしいと、大きなラジカセをかついで集会を録音し、テープをコピーして配布するようになりました(やがて大きなビデオカメラを担ぐようになりました)。滝本明先生の集会では、集会后先生に祈っていた翌朝、長年苦しんでいた吃音が癒やされ、立て板に水で話せるようになる経験もしました。学校が開校される約一年前、記録係を探しておられた山口先生のもとに一本のテープが届いたようです。下関ルーテル教会での中国地下教会指導者の証し集会を録音したカセットテープです。このテープがきっかけで学校のスタッフとなりました。学校を通して広く北九州・下関の牧師先生・熱心な信徒の方々と巡り会うことができました。また私自身も本科一期生として、様々な先生方から聖書の学びを受けることができました。しかも私は記録係なので今日に至るまで礼拝と授業の恵みを受け続けているわけです。私が健康を害して数ヶ月入院・自宅療養していたときには廣川信生兄が撮影してくださり、今は家内が撮影を担当しています。多くの方々によって支えられ、奉仕を続けられていることを覚えて、主に感謝いたします。創立三十五周年おめでとうございます。

(ビデオ撮影・通信生DVD作成・ホームページ担当)

二〇二〇年度入学式次第

司 会 教頭 廣川和行師

場 所 財団法人北九州YMCA

開式の辞 ピリピ書二章一二〜一六節

賛美歌 三三三主はいのちを

新入生氏名点呼 上島信弥師

新入生先生 第三三期生 笹山京子姉

賛美歌 五〇二 いともかしこし

式 辞 校長 野村幸生師

頌 栄 五四〇 みめぐみあふる

祝 祷 塩屋 弘師

後 奏

入学者氏名

本 科 第三三期生 笹山京子

(北九州リバイバルチャーチ)

信徒説教者称号第十六期生 藤原哲治

(日本キリスト教団鉄町教会)

ギリシヤ語公開講座受講者

森 純子 (単立宗像キリスト教会)

鬼塚賀津子 (黒崎カトリック教会)

岩井加奈子 (北九州リバイバルチャーチ)

石黒 晴恵 (北九州福音センター)

式 辞

神を知ることによる成長

校長 野村幸生

「こういうわけで、私たちもそのことを聞いた

日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたが、あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころについての知識に満たされますように。また、主にふさわしく歩み、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる良いわざのうちに実を結び、神を知ることにおいて成長しますように。」(コロサイ1・9、10)『新改訳2017年版』

2020年度のご入学おめでとうございます。本校での学びを志して下さったことを感謝いたします。特に今年はコロナウィルス問題のさ中であるにもかかわらず、本校での学びを志して下さったことを感謝いたします。また、講義を下さる講師の先生方、またビデオ録画の奉仕も、よろしくお願いいたします。受講生の皆さんも、すべての方々には、感染予防対策には努めてのご協力をよろしくお願いいたします。

学びたいという志Ⅱ思い、と、それがかなう境遇Ⅱ環境の両方が必要です。学びたいという志Ⅱ思いがあっても、その境遇が与えられないということもあります。毎週金曜日のこの時間を確保することとは大変なことと思います。そのことをも含めて、志をもって下さったことを感謝いたします。

私も北九州信徒聖書学校には、テストはありません。入学試験もありませんが、講義についてのテストもあります。科目によっては、レポート等の課題があるかもしれません。それは決して評価するためではありません。ただ、学んだことの整理のためにしていただいているのです。講義の中で、聞きなれないことばが出てくるかもしれません。もし、意味の分からないことばが出てきた場合には、遠慮なく、気兼ねなく質問して下さい。質問は、私たちにとっても学ぶ機会になります。それぞれにすでに、もう、聖書も信仰書もあるいは神学書も読んで、学



2020年度 入学式

んでいる方もおられるでしょう。いろいろな意見をお持ちの方もおられるでしょう。聖書や神学について、ある分野においては、私たち講師以上に、すでに学んでおられる方もおられるかもしれません。すばらしいことです。

さて、コロサイ1・9、10には、「知恵と理解力」、「神を知る」、「深く知る」「新共同訳」ということばがあります。この箇所では、神を知ることが重要なポイントです。神を知るといふ時、もっと詳しく表現しますと、正しく知る、広く知る、深く知る、親しく知る、とすることができます。まず、正しく知るためには、聖書にどのように神様が描かれているかを学ぶ必要があります。また、聖書のあらゆる箇所から学ぶ必要があります。さらに、自然界や歴史からも学ぶ必要があります。

つぎに、深く知るといふことと親しく知るといふことは同じようなことかもしれません。深く知るといふことの中に、計り知れない神様のみこころやご計画も含まれるでしょう。生活の具体的な出来事に神様が身近にかかわってこられていることを知ることが親しく知ることかもしれません。さらに、全知全能なる神様

が、創造主でありすべてを支配しておられる神様が、こんな罪深く、無きに等しい者のために、かけがえのない、尊いひとり子イエス・キリストを身代わりに犠牲にされたということについての、広く深く計り知れない、神様のみ思いの一端を知らされることも、神を知ることに含まれるでしょう。そのような神を知ることの中で、自分自身が救われていることの意味を、もつともつと、深めていただきたい。この救いこそ何にもかえがたいすばらしい価値ある宝であるということについて、その意味を深めていただきたい、いいえ、私もともに深めてまいりたいと思います。

私は、聖書を学ぶ上で、必要なことは、広い視野を持つことを心がけるということです。そのために、本校は超教派という立場で、北九州を中心に、いろいろな牧師先生方に講師をお願いしております。神学的に立場の違う先生方から学ぶことができます。自分の教派とは違う方々から学ぶことができます。そのような考え方、とらえかたもあるのかと、視野を広くして、いろいろな角度から学んでいただければと思います。

(2020年9月4日入学式式辞)



ギリシャ語受講生の皆さま

ギリシャ語公開講座

多くの皆さんの要望により連続13回での学び、コロナ災禍で2020年9月開講となった。原書ギリシャ語よりみ言葉の深みにふれる礼拝後70分間の学びである。

講師 吉住和義先生

北海道出身 米国ボブ・ジョンズ大学神学部卒 日吉台キリスト教会牧師、北九州信徒聖書学校旧約学・語学ヘブル語、ギリシャ語を担当する。



学び舎であった旧日本キリスト教会小倉教会

わたしの山に登りなさい

山口 晶久

2020年度は、驚くような混乱での幕開けです。私どもが経験しなかったコロナウイルス感染症。全世界的規模で広がりをみせています。昨年、12月中国湖北省武漢市で初の発症が確認され、1月30日、WHOが緊急事態宣言。2月27日、安倍首相が全国の小中高の臨時休校を要

請。3月11日、WHO「パンデミック(世界的大流行)」と表明し、3月24日、東京オリンピックの延期が決まります。4月7日、政府の緊急事態宣言。5月31日まで延長されます。その間、日本の各大学の卒業式は何かできても、新年度の入学式は行われていない。私共も新年度の授業開始を先週9月4日まで延期しました。今日に至っても大学では何とリモートで対面授業は開始されていない。志をもって入学したがいつものような大学生活を送ることはできない。混乱は続いています。新型コロナウイルスの世界的大流行は私たちの、日本や世界での人々の暮らしや生き方を大きく変えています。今日の箇所、モーセがイスラエルの人々と主なる神の前で祭りを行なっていたときです。主なる神は、モーセに向かって、12節「わたしの山に登りなさい。山に来て、そこにいなさい。」とあります。先ほど歌いました讃美歌301番は「山辺に向かいてわれ」と言う歌です。Umazake Bessho, 1929とあります。日本における讃美歌学の草分けである別所梅之助の作詞。彼は牧師でしたが、青山学院の国語・漢文の教授を務めました。讃美歌の歌詞を日本語に美しく洗練され

たものにすることに貢献しました。

山辺(やまべ)に向かいて我(われ)目をあおぐ 助けはいず方(かた)より来たるか 天地(あめつち)の御神より 助けぞ我(われ)に来たる。・・そして4節は、御神は災いをも避けしめ 疲れし魂(たましい)をも休まず出(い)ずる折り入る折りも 絶えせず汝(なれ)を守らんと。信仰的に読んでも、とても深い内容です。

聖書には、山を背景にした箇所が多く書かれています。「わたしは山に向かって目をあおぐ・・」(詩編121・1)、「群衆を見て、山に登られ・・」(マタイ5・1)、「イエスは・・高い山に登られ・・」(マタイ17・1)、「信仰があるなら、この山に・・」(マタイ17・20)、「祈るために山へ退かれた」(マルコ伝6・46)「オリブという山で夜を過(し)・・」(ルカ伝21・37)。イエス様は山に登り、山へ退かれた。ひとりになり神様と交わりを持たれ祈られた。祈りにおいて山は欠かせない場所です。

ここで、山に登りなさいとの招きに、ひとり山に登り、モーセは神の前に向かいます。実は生涯のある場面、私たちはひとりで神の前に向かうといえますか。

神のみに出る、出なければならぬことがあります。どうすることも出来ない問題を抱えてです。必ず生涯、一度や二度は経験します。モーセはひとりで山に登ったと。40日40夜、ひとりで山にいたことが語られています。

北九州信徒聖書学校の卒業生でお隣の韓国から入学なさった李点淑さんという年配のご婦人がいらつしやいました。昔、私は、お隣の韓国に巡回伝道に出かけていました。李さんが、金海（キメ）国際空港に出迎えて下さいました。ある時は真白な麻のチマチヨゴリで、ある時はブルーと白のチヨゴリで、私を迎えて下さいました。彼女は日本が韓国を統治していた時代、教員養成の師範学校。京城女子師範学校（今のソウル）で学ばれました。日本語も流暢で、読む、書く、話す、知識においても優れておられました。聖書学校の卒業生が短歌集を出されそれを韓国語に訳す。実に語学力には特に優れたものをもっておられました。ご主人は病院を経営なさっておられました。一度ご夫妻が仕えておられる釜山ハナロ教会で礼拝説教をするようお願いされましたが、約束を果たせないままとなりました。天に召されましたのですから。

李さんは、生前に、私を訪ねて幾度か北九州の地にやつてこられました。聖書学校の記念式でもお会いしていましたのでとても忘れることのできないお方です。この李さん、このような証をなさいました。

ある時に病院経営が困難になり閉鎖しなければならなくなった。聞くところによると、初期のころはご主人が診察なさっておられるときに我が子をあやしなから、内助の功を発揮しご主人の仕事を助け続けられた。ご夫妻が心血注いだ病院が倒産の危機に陥った。八方尽くしても改善の手だてがない。そこで、彼女はひとり、山の名前は忘れましたが、聖書を片手に山に登ります。朝早くです。なぜ登ったのか、それは神様にこの苦境を訴えるためです。人里離れた山の中を歩きます。ひとりでそれも女性です。治安のこともありますから恐れと不安があつたでしょう。頂上を目指し山に登り、とにかく祈る場所を見つけた。それは切り立った見渡しの良い山の中腹でした。そこに座り讃美歌を歌い聖書を読み祈る。それを繰り返します。

李さん、とにかく夜を徹して祈られた。恐怖心はありました。実はこの山には言い伝えてトラが出ると言われていました

から・・・不思議と守られその一夜を明かされた。山間に朝日が昇る。すると何とも言えない平安が李さん自身を満たしたというのです。喜びが腹から湧き出てきたというのです。うれしくて、うれしくてたまらない。そのような状態になった。魂に平安が与えられた。そして山を下りられます。

山でなくてもひとりになり、先ほど話しましたように、神の前に出て祈る。海でも、山でも、誰もいないわが家でも、職場でも、そしてひとり散歩しながらでも、とにかくひとりになり祈る。神の前にも出る。願いをもつて・・・どうすることも出来ない現実、自らの力を超えた問題に、人は人生の中で必ず出遭います。その時に祈る。神に出会い、主なる神様と人格的な交わりが出来る人は、何と幸いでしょう。そう思います。

私たちは生涯のただ中にひとり神の前にたたずみ自らの生涯の出来事に神の助けを求めなければならぬことがある。聖書に出てくる人々は、みなモーセのように一人で神の前に出た。神のことば、みことばはひとりにならない限り従うことはできないことがよく分かる。そしてそこでこそ、主なる神が共にいて下さる。

神の栄光を仰ぐことができるのです。

その後、時間はかかりましたが病院の問題は解決をみたと言うのです。

先週の入学式、とても励まされました。

本科に入学なさった笹山京子様、入学式前の面接で、本校の開校前に大川従道(大和カルバリーチャペル牧師)先生を迎えての公開講演会が行われた。笹山様、その講演を聞いて入学して聖書学校で学びたいと願った。しかし、当時は経済的にも時間的にも難しい。時を待ったと言うのです。そして35年目を経てようやく実現したと。また、本科で2年、研究科で1年学びを終え、そしてこの度信徒説教者称号を取得のために入学された藤原哲治様。奥様、お嬢さんは共に保健師であると。コロナ災禍で仕事は忙しい。それでお孫さんの面倒もみないといけない。なかなか引き続き学ぶ決断がつかなかった。すると「金曜日は何とか私がするから」。聖書学校で学ぶことをお嬢さんが背中を押して下さったと。強いみ手が、神様のみ手が働いて背中を押してくださったのです。面接で話されました。とても感動しました。この年、本校は35年目を迎えています。多くの皆様のご加禱と支えにより、今日までこの働きを神様は

許して下さいました。神様はすべてのことと最善をなして下さい。その信仰に立つことができる。そう思うのです。

私たちは自らの生涯で多くのことを経験します。忍耐しつつ神の愛の中に居続けることは大切です。そして信仰生涯を全うしなければならぬ。ルカ伝8章、マタイ8章、マルコ伝5章に、イエスがガリラヤの向こう岸にあるゲラサで、長い間衣服を身に付けず、家に住まないで墓場を住まいとしている人のことが書かれています。その人を癒したイエスは「神があなたになさったことをことごとく聞かせなさい」と。口語訳では「神があなたにどんなに大きなことをしてくださったか・・・」とあります。コロナ災禍であつても、この証ができる喜びをお互いに経験したいものです。

去る9月11日(金)、授業前の礼拝奨励内容である。

従来は入学式時に理事長祝辞として語られるが、コロナ禍で入学式が簡素化されたために、一週間後の礼拝奨励での祝辞となった。

東西南北

み心を求めながら

上西 創造

聖書学校での学びと同窓会での主にあ

る交わりを通して、今日の私の信仰が確固たるものになったことを感謝しています。

聖書ほど不思議な書物は、この世にはありません。読み方次第で人の心を変えます。し、全く心に響かない読み方もあります。年齢が増しみ言葉の一句一句を、神様に御心を探し求めながら読むと大きな喜びが与えられるばかりでなく、神様の愛の深さを覚えさせられます。

若いとき文語訳聖書、口語訳聖書、新改訳聖書、共同訳聖書の通読に励んだものです。読んだ後は達成感だけが残りましたが、神様の御心を知る読み方は出来ませんでした。その後、時間を決めて、祈りながら、神様の御心をたずねながら読むことにしました。そうすると宝が続々発見されるようになりました。丁度、畑の中に隠された宝を発見した人のように(マタイ13・44)です。ですから、聖書の読み方は量でなく、神様のメッセージをできる限り深く受け止めることができるように、毎日神様と対面して祈りをささげ、聖書のみ言葉を一句一句噛みしめ味わいながら読む。この習慣を身に着けることが大切と思われまふ。

聖書はこの様に、読むたびに新しい神様の御心を発見させて下さいます。それによって、神様に祝福され飲むに満ちた一日を

過ごすことができるのではないでしょう
か。学校のご発展と先生のご健康をお祈り
しております。

(第2代同窓会会長・第5期生卒)

日本キリスト教会小倉教会会員)

奉仕への備え

小柳 孝一

「あなたがたに新しい心を与え、あな
たがたに新しい霊を授ける。・」(エゼキ
エル 36・26)。このみ言葉は20年前に示
されましたみ言葉です。それ以来、家族の
病や召されたりといろいろの出来事の中
で、今に至るみ言葉の取り継ぐ奉仕への備
えがなされて来たことを思います。聖日ご
とのメッセージのメモや断片的な学びは
致しましたが、本校の系統だった学びの機
会を得ましたことは、私にとりまして本當
に幸いでした。

今年はコロナ災禍により、新学期が9月
に延期となり諸先生方のご苦労は如何ば
かりかとお察しします。また、個別にレジ
メを分けていただいたり、丁寧な対応に感
謝を致しております。科目ごとに気付いた
ことを掘り下げて調べたり、学ぶ楽しみを
噛みしめています。

私は時代の流れの中で自分に出来るこ

とは何なのか。問い続けています。毎年発
生する災害への支援やコロナ災禍で困窮
されている方への支援、さらにはお弔いへ
の支援など身近なことで、み言葉の実践が
出来ないものかと、与えられる課題に向き
合いつつ考え、出来ることを行っています。
今なお継続的な神様の訓練をいただき
ながらの奉仕ですが、毎週のDVDで行わ
れる礼拝や学びの中にヒントがあります。
本校の大切な働き、並びにご苦労下さいま
す先生方の上に、神様の祝福を祈る者です。
(本科通信第21期生・箱崎キリスト福音教会)

すべてを主に委ねて

立石 才子

本科を卒業して23年も経ったのだと懐
かしく当時のことが思い出されます。勤務
を終えて、毎週金曜日の午後7時に始まる
聖書学校に駆け込み、せわしない心で礼拝
に臨むと不思議に平安な境地になり、聖書
の授業を受ける時間は、わくわくした心境
で学んだ2年間でした。先生方が色々の方
向からみ言葉を解釈して下さり、聖書の本
質に迫って教えて下さったことを本當に
感謝します。それまでは自分流に頭で読ん
で済ませていたのだなと思い知らされま
した。



第1期生 卒業式 1987年3月27日

聖書学校の同窓会で企画された年一度
の教会訪問にも参加して色々な教会で礼
拝に臨み、メッセージをいただき、それぞ
れの教会での聖霊の働きを体感し、多くの
恵みをいただきました。多くの牧師先生方
のお働きを目にし、体感し、信徒の方々と

もお会いし、楽しいひと時を過ごすことが出来ましたこと、人生の大きな喜びの一つです。

私の所属する教会は牧師先生がいっぱいしゃいません。週一回、後藤牧師に来ていただき、他の教会の牧師先生からもメッセージいただいたり、また教会の兄弟姉妹が証したりして、礼拝を守っています。私は聖書学校での礼拝が身についていますので、すべてを主に委ねて、平安な気持ちで臨めることを感謝しています。

(本科11期生卒・企救エクレシヤ伝道所)

主に導かれて

岩井加奈子

今年は新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し多くの犠牲者が出て、外出自粛など生活様式も変わり異例の年となりました。主に守られ全てが整われ、新入生も与えられ、例年より遅れながらも無事に入學式が行われた事を感謝いたします。唯一の本科新入生が同じ教会の姉妹ということもあり、喜びもひとしおでした。

例えば4年前、主に導かれ本科に入學させて頂いた事を覚えています。洗礼を授かりクリスチャンでありながら聖書について詳しく知らぬまま何年も過ぎました。そ

して聖書について勉強したいと思うようになり同じ教会の姉妹達に北九州にある超教派の聖書学校のことを教えて頂きました。その時入學して学びたいという気持ちと、2年間という長期間の学びについていけるかという気持ちの葛藤がありました。が、もしここで入學しなかったら一生後悔するという思いが与えられ入學を決心しました。

入學した当初は緊張で一杯でしたが、毎週ご奉仕される先生方の暖かいご教授により次第に緊張もほぐれ金曜日の晩に学校に行く事が習慣となりあつという間に本科が終了し、ぜひ研究科でも学びたいと思うようになりもう1年通わせていただきました。楽しい3年間の学校生活となりました。

元々外国語を勉強するのが好きでしたので本科、研究科の履修科目にへブル語・ギリシヤ語があることを知った時は感動しました。しかしクラスでは学ぶ時間が限られていましたが、昨年よりギリシヤ語公開講座が開講され私も学ばせて頂いています。「天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある」(伝道の書3・1)

(本科第29期生卒・北九州リバイバルチャーチ)

学び続ける場として

石黒 晴恵

おめでとうございます。時の過ぎ去る速さを感じます。

私がこの学校に関わるようになってどれくらい経つのか、改めてふり帰ると約10年でした。本科、研究科、専攻科、そして信徒説教者コース、すべて受講しました。最初は、とにかく、何らかの形で聖書を学びたい、という思いで始めました。そのうち、私は以前、看護師としてホスピスに勤めていたのですが、またホスピスに戻って働きをしたいけれど、今度は看護師でなくチャプレンとして末期の患者さんに死の先の希望を届けたい。そう思うようになり、それを目標に学んできました。その目標はまだ実現していませんが、現在は自分の教会で2ヶ月に一回、奨励者として礼拝メッセージを担当しています。

毎日が忙しく、準備のたび、自分自身の中での葛藤が激しいために、どうしてもできない時がありますが、主に、また兄姉励まされながら、何とかやり続けています。昨年はもう一度説教について学び直そうと、信徒説教者コースを再聴講しました。それと同時にギリシヤ語の基礎講座が始まり、数人の姉妹たちと共にギリシヤ語の

学びに挑戦しています。ギリシャ語の文法は英語や日本語と全く違うので、翻訳することは大変です。しかし、皆でギリシャ語聖書が読めるようにと頑張っています。

この学校で、時ありごとに山口理事長が話されるように、一人の姉妹の「聖書を学びたい」という小さな願いから始まったとお聞きしています。その願いがあつたからこそ、35年の間に多くの方々が、いろんな教会の牧師先生方の協力でみ言葉を学び、それぞれの教会生活に活かされておられると思います。私もその恩恵に預かることが出来て本当に感謝しています。私にとって「神学校」には行けないけれど・・・こうしてみ言葉を、聖書を学び続ける場所があることはありがたいことです。これからも良き「み言葉を学び続ける場」として、本校が主に用いられることをお祈りします。(本科第25期生卒・北九州福音センター)

35年目の祈りの実現

笹山 京子

昨年、10日間のイスラエル旅行に参加しました。イスラエルに行った事で、ヘブル語と、ギリシャ語を学んでみたいという願いが起こされ、北九州信徒聖書学校に入学したいと思いました。

ところが、北九州信徒聖書学校に入学したいという願いは、35年前の五月開講の年の1月31日、大川従道牧師をお招きしての、公開講座に、教会から数名で参加しました折に、献身の思いと共に、与えられていたのです。その時は、子供達の教育費もかかり始める時期であり、授業料等を払う余裕がありませんでした。その後、公開講座には、何度か参加させていただきましたが、いつしか、入学したいという願いは、私の内から消えていました。

今年に入つて、その公開講座のテープ二本が見つかり、聞きながら、この学校に入学したいと思つた時の気持ちがよみがえりました。コロナの為に、九月からの入学でしたが、74歳の私も、入学を許され、緊張しながらも楽しく学ばせていただいています。入学式の日、本科1名の入学と知り、本科2年の増田兄と二人だけの授業は、もつたいたなく、教えてくださる先生方に感謝一杯です。

来年本科に入学される方が起こされますように祈ります。授業の前に持たれる礼拝の時は、至福の時です。35年間の、いえ、その前の準備の時から、今日までの歩みを導き、守られた主に感謝致します。そして、長い期間、ご奉仕してくださっている先生

方に、心から感謝致します。

(本科33期生・北九州リバイバルチャーチ)

聖書学校での聖書

森 純子

学校創立35周年、おめでとうございます。聖書好きが昂じて本科、研究科、信徒説教者コースに続き、現在はギリシャ語講座を受講しております。

聖書学校の好きなところの一つは、学びに用いる聖書に特定の訳や版を定めておらず、生徒が日ごろ礼拝で使っているものを持参することが許されていることです。毎回の礼拝や授業では出席者は新共同訳、新改訳、口語訳などを持ち寄っています。(礼拝司会者は聖書朗読の際、「〇〇聖書で拝読いたします」と前置きすることも度々です。)

それぞれに聖書を持ち寄ることは各々の礼拝や信仰姿勢に対する敬意を感じますし、学ぶ場面にあつては、みことばの豊かさを体感するきっかけともなっています。

そうは言っても聖書を統一してはいないと、授業がスムーズに行われないのではないかと危惧する向きもあるかもしれませんが、が、そうはならないのが、みことばの不思議です。各々の豊かな翻訳で味わいな



20 分間の礼拝を守り授業が始まる

がらも、その核となる真理は一本の芯を貫いていることを毎週実感しています。

ギリシヤ語講座では聖書本文をギリシヤ語で読むことを目指し、基礎の学びを続けています。折に触れ、講師の吉住先生が例文として聖書原文を引用してくださるのですが、原文で読むたびに日本語の翻訳では味わいきれない神様の熱い思い、極限までの愛を示されて感動しています。改めてギリシヤ語を学ぶ意義がここにあるのだと思います、毎週の学びを感謝しています。

(本科29期生卒・宗像キリスト教会)

誇りと自信

熊谷 真悟

北九州信徒聖書学校、創立35周年が主を守られ主に支えられし証であることを思い、心より主と関係者さまにお祝いお慶び申し上げます。天文学者ハーシエルの友人に語った言葉「我が愛する友よ、我々が死ぬときには我々が生まれたときより、世の中を少しなりともよくして往こうではないか」この素晴らしい志をもって創られた小さな神様の働きからの35年、小さく始まった事業が様々な困難な諸問題を次々と解決された時であったことを思います。多くの卒業生を送り出し、これからも神様のご計画通り継続されていかれます。

私自身も卒業生の一人です、社会生活の目まぐるしい流れの中、本当にクタクタになりながら、金曜日の定められた時間、そして定められた場所であるYMCA教室で行われる礼拝と授業、どれほど支えられた空間であったことでしょう。そして、それは卒業して何年たつても神様の前に私の誇りと自信、そして信仰のあかしとして生かされております。

詩篇一編3、4節「流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び、葉

もしおれることがない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらす」

この聖書の御言葉と共に神様のそばで時が良くても悪くても神に祈りつつ、まっすぐに歩み続け、山口晶久理事長をはじめ、講師の先生方と学ばれる生徒さま方、また卒業生の方々を通して素晴らしい神様の素晴らしい栄光が現わされることを心よりお祈り申し上げます。

(本科第20期生・明日への希望集会)

人生は不確かなので

増田 佑

2020年も北九州信徒聖書学校で聖書を学ぶ機会が与えられていることに感謝いたします。本年度の始まりは、波乱万丈そのものでした。新型コロナウイルス感染症の拡大により、当たり前だった生活が一変し、集会や外出に常に注意が必要となり、毎日マスクを着け、手指消毒を行うことが求められています。私が奉職する折尾愛真高等学校でも数か月の臨時休校を経て、学校が再開され今は学生の心のケアが課題です。加えて、七月には闘病生活を行っていた母が、召天し家族全体が寂しさを覚える時期を過ごしました。

目まぐるしい変化や出来事の中でも、神

の摂理と御言葉の確かさを体系的に教えていただける学びの場が毎週金曜日にあることが私の喜びであり、支えとなっております。

「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。(詩篇23・4)」

人生は不確かなので、次に何が起こるか予想もつきません。昨年、入学した当初から、今の生活は全く想定外です。しかし、学びを通して教えられ続けていることは、よい牧者であるイエス様が、私たちとともに向こう岸へ渡ろうと言ってくださっていることです。北九州信徒聖書学校創立35周年という祝福が与えられているのは、主がともに歩んでくださっているからであり、多くの祈りと支えがあったからだと思います。人生は不確かですが、神の御業は確かです。

これからも北九州信徒聖書学校で学べる特権を感謝しつつ、学んだことを実践していくことができるように成長し続けていきたいと思っております。ともにいてくださる主に導かれつつ。

(本科第32期生・日吉台キリスト教会)

忘れられない年

泉 カヨコ

コロナウイルス禍の中での入学式が遅れてではあるが開催されること事を知った時は、「本当にあるのですか」とお尋ねした。驚いたのである。不安ではあったが、JRはこの騒動から初めての乗車で緊張した。咳の止まらないホームの男性を気の毒に思いつつも怖かった。

出席に慎重だった私に神様は多くの感動を下さった。暗く光が見えなかったのに力が出てきたのである。「主を見上げる」信仰は強い。主と共に歩む事は何も恐れない事だ。「神が私たちに下さったのは、臆する霊ではなく、力と愛と慎みとの霊である」(第二テモテ1・7)

初代教会から今日にまで代々の教会が使徒信条を表し継承してきた信仰の告白は今の時代も続いている。主の御声聴いて歩み出す一步は尊い。深く、長く、高い、広い主は私達の思いを遥かに超えて、今も働いておられることを新たにしたい。

「全てを主に委ねよ」(詩37・5) 我らは神のやぐらの中で守られている。今から忘れられないであろう、2020年の年、先立って歩まれるのは主である。

(本科第5期生・日本基督教団八幡西教会)

学びに感謝して

住田 美智子

どれほど多くの信徒の皆様が学ばれ、成長され、世に出され、大きな働きをされている事を思います。山口理事長の「開校の必要性と抱負」を熱き想いで語られた熱意が、信仰薄き私の心をも揺さぶり、入学の想いが与えられました事を、今でも鮮やかに思い起こしています。高齢の姑をかかえ、すぐには入学出来ず、七年後に、胸踊らせ、通学を許されました事の喜びは、今でも忘れられない。神の愛に深く感謝しています。金曜日の夜が待ち遠しく、嬉しさ一杯で学びました。59歳の時でした。厳粛な礼拝で語られるメッセージは、得るものが多く、神様の愛と恵みを深く感じ、超教派の先生方からの学びも、あながち難しいながら楽しく学べました事は2年間、ほとんど休まず、通学出来ました故です。私の教会の牧師婦人が入学されて、素晴らしい学校故、毎年、「教会から信徒をこの学校に送り出したい。」と願い祈られたことが、ほぼ現在まで続いています事も感謝です。天国に行かれた夫人も、きっと喜ばれている事でしょう。

自分の教会とは違ったものが学べる。この学校は魅力が豊富です。この先、40年、

50年と、多くの生徒さんが養われ、神様の大きな御業の為に、働き人となります事を、心からお祈り申し上げます。私は、同窓会の幹事の働きの一部にも加えて頂き、素晴らしいお働きをされている兄姉とも厚い交わりをさせて頂き恵みを心から感謝申し上げ足りない言葉でしたが、学校の存在に感謝して更なる今後のお働きを心からお祈り申し上げます。

(本科7期生・北九州リバイバルチャーチ)

すべてが恵み「時」さえも賜物

鬼塚 賀津子

1995年5月、私は北九州信徒聖書学校本科15期生として入学が許され、研究科、専攻科(聴講)と続けて6年間学ばせていただきました。家族のさまざまな問題を抱え、開業医(歯科)として仕事をしながらの学びは、時間的にも体力的にも自信がなくて、何年も願書の提出をためらっておりまして。けれども、まさに神様が、そんな私に働きかけて、「その願いを起こさせ、実現に至らせて下さったのです。」(ピリピ2・13)私にとって聖書学校での学びの時はもちろん、授業の前の礼拝のひとときも、一日の緊張から解放され、心満たされるかけがえのない時間でしたから、毎週

金曜日には心を弾ませて、YMCAの4階の教室まで一気に駆け上がったものでした。

昨年ギリシャ語公開講座のご案内をいただき、再び懐かしい思いで受講させていただいておりますが、あれから20年、心は逸れど3階まで来ると、ちよつと呼吸を整える自分に、苦笑しながら、また教室へと急ぎます。先日の授業の中で、吉住先生がへブル書13章5節の原文を引いて、ギリシャ語の説明をして下さいました。この聖句は私の好きな箇所で、いつも心慰められ力づけられるのですが、「決して・・・」としてあるギリシャ語の表現の中に、どれほど深い、神様の強い思いが込められているかを知って、私は目頭が熱くなりました。年々、視力も記憶力も理解力も衰退していますが、気力がある限り学び続けたいと思います。み言葉の行間にあるイエス様の思いを少しでも理解できますように、そうして生きていきますように。

最後になりましたが、山口先生はじめ、礼拝での奨励のご奉仕下さる先生方、講師の先生方、ビデオ撮影して下さいる柴田姉に心から感謝申し上げ、これからも信徒聖書学校の歩みが祝され、主の照らしとお導きが、さらに豊かにありますようにお祈り申

し上げております。

(本科第15期生・カトリック黒崎教会)

備えたもう主の恵み

末益 育子

貴校の発展は発足された山口理事長先生をはじめ多くの先生方のご活躍と卒業生、在校生、諸関係者の方々に、神様の備えと共に、さまざまな試練を乗り越えて本日を迎えられることに感謝します。

私は定年退職し聖書の概要、教会のあり方など学びたく入学し18年になります。本科から信徒説教者コースまでの7年間、超教派での学びは、礼拝と講義は篤く親切丁寧で至福の時でした。神様の御国と平和を間近に感じ、春夏秋冬幸せな時でした。現在の教会生活に於いての元気の源です。コロナ禍の自粛の今、貴校は九月より授業再開継続で主の祝福の中にあり先生方のご熱意に唯ただ感謝です。コロナ禍以前の諸教会は限らない課題の山積で疲労気味の様子でしたが、自粛の今こそ主の御声に拝聴し真の御国と平和と栄光を再確認し、全世界的に自然と人との共存・共栄・共生による御国建設を祈り求める好機と痛感します。

これからの教会生活の大転換として一

層教会を敬愛し万人への宣教・伝道を祈り求め希望を持つてキリスト者同士、支え励まし合い歩む時と痛感します。中でも北九州信徒聖書学校は貴重な存在であり心からエールを送ります。貴校の発展の備えを信じ益々の発展をお祈りします。「すべての国よ、主を賛美せよ。全ての民よ、主をほめよ。主の慈しみとまことはとこしえに、私たちを超えて力強い。」(詩編117)

(本科第18期生・日本キリスト教団下関教会)

神様の導きに感謝

藤原哲治

本科、研究科と3年間の学びを終えて、更に聖書の学びを深めたいと思い、以前から信徒説教者コースでの学びを希望していた矢先、新型コロナウイルスの嵐が北九州に起こりました。

家族が新型コロナ予防の仕事に従事する中、日々、孫を保育園に迎えに行くことを日課にしていた私は、今年、学ぶことは無理かと思っていた時、長女が言葉を発しました。「今、行かないといっ行けるかわからないよ。子どもの迎えは自分が何とかする」と。

そして、私は数日間祈り、学ぶことを決心しました。しかし、このことは自分が決めたようであっても、実は神様が導いてこ

られたと、あらためて実感しました。今、週一回、学びに先立ち教派を超えた兄弟姉妹とともに礼拝に預かること、そして、その後の学びを通して、当時のおかれた状況などを想像して、より深く聖書を学ぶことができる喜びを感じています。

このような機会を与えてくださった神様に感謝し、北九州信徒聖書学校の先生方に心から感謝しています。

(本科第30期生日本キリスト教団八幡鉄町教会)

北九州信徒聖書学校同窓会規約

一、(名称) 本会は、北九州信徒聖書学校同窓会と称する。

二、(会員) 本会は、北九州信徒聖書学校卒業生、並びに修了生をもつて組織する。

三、(目的) 本会は、次の目的を遂行する。

① 北九州信徒聖書学校の為に祈り

② 同窓会並び修了生の親睦

③ 北九州信徒聖書学校への支援

四、新入生の勧誘

五、(組織) この会を運営するために、次の役員を置く。

① 本会に幹事を置く

幹事は、北九州在住卒業生の中から若干名を選出し、幹事会を組織する。

② 本会に会長、副会長、書記、会計を設ける。これらは、幹事会が同窓会の中から候補者を推薦し、同窓会総会に承認を得る。

③ 会計監査は2名置く

会計監査は、幹事会に於いて推薦し、同窓会総会において承認を求める。

④ 幹事及び会計監査の任期は1年とし、再任は妨げない。

六、(会費) この会を運営するために、会費を年額一〇〇〇円とする。

七、(総会) は年1回を原則とし、卒業礼拝後に開催する。

八、(会計) 会計年度は1月1日～十二月三十一日とする。

九、(変更) 本会の規約を変更しようとする場合は、幹事会を通して提案し、総会における3分の2以上の賛成を得て変更する。

十、(付則) 北九州信徒聖書学校を卒業と共に同窓会会員とする。

①この規約は、2019年4月から実施する。

②本会の事務局を北九州市若松区大字畠田904-4 木本正徳内に置く

役員

会 長 木本 正徳(本科12期生)

(日本バプテスト連盟高須キリスト教会)

副会長 泉 カヨコ(本科5期生)

(日本キリスト教団八幡西教会)

書記 立石 才子(本科18期生)

(企救エクレシヤ伝道所)

会計 糸山 恵(本科3期生)

(北九州リバイバルチャーチ)

監 査 末益 育子(本科18期生)

(日本キリスト教団下関教会)

沿革

1981年 Where there is no Vision the people perish 学校設立準備が始まる。

1982年 第1回設立準備委員会が開かれる。第8回設立準備委員会にて、「北九州信徒聖書学校」開校が決まる。設立協力に11教会が参加する。

1985年 理事長山口晶久・校長河田一雄就任。開校入学式が行われる。本科第1期生26名、語学科3名が入学。

1987年 第1回卒業式。本科第1期生として26名が卒業する。

1988年 同窓会が結成される。初代会長柳屋 満氏。5月無牧の教会で説教の奉仕ができることを目指し研究科を設ける。

1990年 本科通信教育課程を新設。

1992年 「信徒説教者称号」授与を実施するため研究科に信徒説教者課程を設ける。

1993年 廣川和行師(本校主事)を米国カリフォルニアに宣教師として派遣する。

1995年 創立10周年記念式、聖地イサエル巡礼を実施する。廣川和行主事、米国宣教師生活を終えて帰国。

1998年 米国オックスナード聖会及びワシントン州シアトル市訪問巡回伝道する。初代河田一雄校長退任

1999年 山口晶久理事長、校長職を代行。伝道者養成のために専攻科を新設する。

2000年 第2代校長森上洋介就任、教師会が組織される。

2003年 韓国研修旅行実施する。

2005年 創立20周年記念ピスガ聖会を開催する。

2006年 第3代校長野村幸生師就任。

2014年 宣教ホームピスガ第一期工事完了する。

2015年 創立30周年記念式を開催する。

2020年 コロナウイルス禍で入学式を9月に延期する。

本校の概要

教育目的 本校は福音主義に堅く立ち、信徒の自立を目指し、各教会に仕える信徒を訓練・養成することを目的とする。

学校

北九州市小倉北区鍛冶町2-3-9

財団法人北九州YMCA

入学資格

本科 洗礼を受けた信徒で牧師の推薦を必要とし、年齢、学歴を問いません。

研究科 本科卒業生及び本科同等の学びを修めた者である教師会が承認した者。

募集人員と修学年数

本科

通学制 20名 3学期制の2年間

通信制 20名 原則として2年間

研究科

通学制 3学期制の1年間

通信制 修学年数は原則として1年

信徒説教者コース 指定された期間

選考方法

本科

通学制 面接試験

通信制 面接試験・書類選考

(遠隔地のみ)

研究科 小論文試験

信徒説教者授与コース 認定試験

卒業と称号

本科 卒業証書授与

研究科 修了証書授与

信徒説教者称号授与

本科、研究科を卒業した者で、本校が定める審査基準に達した者は、本称号が授与される。

履修科目

本科 旧約聖書の学び

(モーセ5書、預言書、聖文学)

新約聖書の学び

共同の手紙、黙示録、教会の歴史、宗教

の歴史、キリスト教教育、キリスト教の

倫理、リーダーシップ、カウンセリング、

礼拝について、説教について

教会の音楽、異端について、祈りにつ

て、イエスの物語、キリスト教基本教理、

ヘブル語初歩、ギリシヤ語初歩

研究科

旧約神学 新約神学 教義学 説教学

牧会学、宣教学、人間関係学、祈祷論

キリスト教経済思想史、ヘブル語、

ギリシヤ語

専攻科 (伝道者養成コース)

目的 日本伝道と教会の使命を思う

とき、福音宣教のために真実、献身する

者の必要を痛感する。専攻科は、そのよ

うな献身者に伝道者として立つための、

聖書に基づく霊的、神学的、実践的な学

びと訓練を施すものとする。また、本科・

研究科の履修者への継続的学びをも目的

とする。

入学資格

(1) 学歴、年齢、性別不問

(2) 受洗後1ヶ年以上の忠実な教会員であり、伝道の召命を受けた者

(3) 所属教会牧師の推薦と責任ある他の2名の推薦を必要とする。

(4) 本校の教師会が承認した者。

試験内容

(1) 召命に関する短文(1200字程度)

伝道者を志すに至った動機。また、専攻

科への継続的学びを志すに至った動機と

本校受験の事由を記述する。

(2) 面接

出願関係書類等

① 願書

② 履歴書

③ 推薦書(3通)

④ 召命に関する短文

⑤ 受験料

修業年限

一年ごとの更新最長3年とする

3年間3学期制で原則午後7時より9時

授業実施日 毎週金曜日

学科及び履修科目

(1) 聖書関係学科

旧約聖書、旧約釈義、旧約各書
新約聖書、新約釈義、旧約各書
聖書解釈学

(2) 語学

英語購読、ヘブル語、ギリシャ語

(3) 神学関係学科

組織神学、神学購読

(4) キリスト教教育関係学科

カウンリング、日本文化

キリスト教倫理学、人間関係学

(5) 歴史関係学科

教会史、日本キリスト教会史

神学思想、日本宗教史

東洋思想史

(6) 実践神学部門

礼拝学、伝道学、宣教学、礼典学

冠婚葬祭関係、牧会学

(7) 卒業論文

オリエンテーション、卒業論文

(受講者の必要に応じて変更する

こともあります。)

授業日 毎週金曜日午後7時～9時

本科

本科普通教育課程(通学)

1. 本科普通教育課程は、本校の設立目的を十分に理解され、本校教室で勉強しようとする方のために設けられた学習課程です。修業年数は2年間とします。

①入学の動機。

②あなたは、本校に何を期待しますか。

③卒業後所属する教会でどのような奉仕ができると思いますか。

についてお尋ねいたします。

2. 履修学科は、次の通りです。(入学案内も御参照ください)

旧約聖書概論(13)新約聖書概論(12)

日本宗教史(1)教会史(5)キリスト

教教育(4)キリスト教教育哲学(1)

キリスト教倫理(4)リーダーシップ(2)

カウンセリング(1)礼拝学(2)教会

音楽(1)説教学(3)開拓伝道(1)

祈りについて(1)イエス伝(3)教理

解説(5)新約聖書ギリシャ語の手ほど

き(2)旧約聖書ギリシャ語手ほどき(2)

(一)内数字は講義日数

3. 在学中には課題レポート提出して

いただきます。二年次では課題レポート共に

卒業メッセージを作成していただきます。

4. 午後7時～7時20分のチャペルは、

必ず出席してください

5. 授業出席日数が3分2以上に達した課題(5)を完了されれば卒業となります。

本科通信教育課程

一、本科普通教育課程と同じ内容の勉強をします。普通教育課程が毎週教室に通学して学習するのに対して、通信教育課程はご家庭で学習します。教室で語られた講義の収録ビデオテープかDVDをお送りします。それで、レポートを書いて送っていただきます。

二、レポートを提出学科は次の通りです。新約聖書概論全体、旧約聖書概論全体、キリスト教教育、教会史、キリスト教倫理、キリスト教教理解説、イエス伝、礼拝学、説教学。その他はお送りしますビデオテープかDVDをご覧下さるだけで結構です。

三、通信教育課程は、原則として2年で学びます。1学期送付分については8月、2学期送付分は12月、3学期送付分は3月に、それぞれ指定された日までにレポートを提出します。

四、入学式と卒業式については、遠隔地の方を除いてご出席をお願いします。

五、スクーリングについて

学年に在学中、一度はいつでも結構です。本校教室に受講においていただきます。勿論、遠隔地の方は除きます。また、各地でスクーリングが開催された場合には最寄りの地にご出席ください。

六、レポートは採点いたします。教師会が責任を持ちA、B、C、Dの4段階とします。

A、大変良くできました。
B、できています。Aをめざしてこれからも健闘ください。

C、努力を認めます。
D、ご苦労さですが、もう一度書いてください。

七、通信生のレポートは担当する教師宛にお送りください。後日、担当教師はお知らせします。

自宅で学習するのは通学より楽なようですが、本当は通学より努力が必要です。ビデオテープかDVD受領後できるだけ早く学習を始められることをお勧めします。原則通り2年間ですべてを学ばれ卒業なさることを学校として望みます。どうしても不可能な場合には、DVD全部を送付後一年間待ちます。その間レポートをご提出下さればご卒業になれます。

研究科

1. 研究科は、原則として本科卒業生で更に勉強しようと志す方のために設けられた方の学習過程です。本科卒業程度を修了された方と、本校教師会が認める方もご入学できます。

2. 入学を志願される方には、面接において下された時に簡単なペーパーを書いて出してください。いわゆる「小論文」と言ってもよいものです。学校が認めた場合には事前提出もよいとします。問題は、次の3つのテーマの中から一つを選んで、400字詰原稿用紙3枚以内にお書き下さい。

① 聖書の神観についてー日本伝道を考慮に入れて

② キリスト教における救いについて
③ 教会形成における信徒の役割について

聖書の持ち込み（自分のものは可）は認めますが、その他の本は持ち込んではいけません。前もって祈りをもつてご準備下さい。

3. 研究科で学ぶ学科は次の通りです。
（入学案内をご参考下さい）

旧約聖書神学（5） 新約聖書神学（5）
宣教学（5） 教義学（5） 説教学（3）

牧会学（3） 人間関係学（3） 祈禱論（2）
キリスト教経済思想史（2） ギリシャ語（2） ヘブル語（2）

（一）内の数字は講義日数です。

④ 説教学には実習があります。本校の礼拝とは別に機会を定めます。

⑤ 各学科の単位を修得したことは、5日ある学科については、3回以上の出席と担当教師の指示する方法によるテストかレポート提出により証明します。また、2日の学科は全部出席することが原則です。

⑥ 研究科も午後7時～7時20分のチャペル出席して下さい。

信徒説教者称号について

将来の福音伝道について考えるとき、従来のような教職がおもに福音を語り、信徒がそれを聴くという生き方だけは、伝道の前進は望めないように思えてなりません。

勿論、教職（教役者）は御言葉を語るために召された者ですから、その務めは信徒の奉仕と同列に置くことはできませんが、信徒は信徒なりに福音を語る務めを世の業務に携わりつつすることが必要であると考えます。

信徒が単なる信仰の証でなく、聖書を解き明かすことができれば、その奉仕は、各教会にとって本当に大きな力になるうかと思えます。本校は、信徒の立場で福音の証と解明を正しい信仰の骨組みに立つて、確信をもってできる信徒を養成することを目指しています。

そこで、本科、研究科の全課程を修められた上で、信徒説教者として内的召命に立つ方に、その召命感を確かめ、説教実習をして頂き試験に合格した場合、その方を信徒説教者として認め「信徒説教者称号」を授けます。

下記の条件を満たす者に「信徒説教者称号」を授けます。

1. 出願資格 本科を卒業し、研究科全課程を修了した者。

2. 審査基準

① 信徒説教者として内的召命感が確かな者。内的召命感に関する立証文（100字原稿用紙5枚程度）

面接諮問

② 教師会が定める説教試験を修了した者

①②については検定委員により審査する。検定委員は校長、本校講師5名、本校が

委嘱した1名より構成する。

3. 所属教会牧師の推薦を得た者

③ 称号の授与 本校理事会の承認を得、任命される者。

4. 称号の取り消し 信徒説教者として著しく適正を欠いた場合は、その称号を取り消すこともあり得る。

専攻科（伝道者コース）

建学の精神

（1）福音主義

イエスキリストを唯一の神のひとり子、救い主と信じ、聖書が誤りなき神の言葉と信じる福音主義に堅く立ち使徒信条が言い表わす使徒的信仰の伝統を賛美と感謝をもって告白する。

（2）超教派

教派を超え、燃える救霊の熱情をもって日本内外の諸教会に仕える伝道者を送り出す。

（3）世界宣教

祖国日本のみならず、全世界に出て行き、主イエスキリストの宣教命令に応える。

設立の目的

日本伝道と教会の使命を思うとき、福音宣教のために真実、献身する者の必要を

痛感する。本校は、そのような献身者に、伝道者として立つための、聖書に基づく霊的、神学的、実践的な学びと訓練を施すことを目的とする。

教育内容の特色

（1）聖書の正確な理解

聖書のみことばを原典に基づき正しく解釈し、その意味を聞く者に悟らせる実力ある説教者を養成する。（ネヘミヤ8章8節）

（2）教会の健全な理解

聖書のみことばに立ち、健全な教会観をもってキリストの体なる教会を立て上げる。真摯な伝道者を養成する。

（3）牧会の堅実な理解

敬虔な生活と真実な献身をもって福音宣教と教会形成の業に励む、霊的魅力ある牧会者を養成する。

（4）神学の公平な理解

公同教会の信仰に立つて、各教派の神学を尊重し、公平に学ぶ。

4. 教育機関の特色

（1）働きながら学べる夜間の神学校である。

（2）献身お思いと伝道者としての使命

感があれば、身ひとつで学ぶことができます。全寮生ではありませんが、必要な方には寮があります。

(3) 学歴、年齢、性別不問、若いも若きも、男子も女子も、基礎からじっくり学ぶことができます。「能力によらず、主の霊による」(ゼカリヤ4・6) 神学校です。

(4) 必要に応じて、諸種の進路指導も致します。

(5) 多彩な講師陣による伝道地に根付いた学びと、奉仕教会と協力した実践的な訓練を致します。

(6) 九州という地理を活かし、アジアへの宣教の使命を持ちつつ、世界的な視野に立ち学びを致します。

2019～2020年度

講師陣及び礼拝奨励者氏名

教師会

校長 野村 幸生

教頭 廣川 和行
(香住ヶ丘キリスト福音教会牧師)

教師 吉住 和義

教師 塩屋 弘
(日吉台キリスト教会牧師)

教師 上島 信弥

教師 原田 昌樹
(野の花クリスチャンチャーチ牧師)

教師 山口 晶久
(チャーチオブクライスト ニュージランド)

教師 山口 晶久
(北九州希望の光キリスト教会牧師)

教師 山口 晶久
(北九州信徒聖書学校理事長)

講師陣

名古屋義弘

久多良木和夫
(日本キリスト教会下関教会牧師)

増田 賜
(折尾愛真短期大学副学長)

藤本 新二
(北九州あゆみの会理事長)

福田 昌治

(元日本バプテスト連盟富野バプテスト教会牧師)
金 度亨
(日本キリスト改革派)

友永喜久男
(聖家族教会牧師)

中谷 清
(日本基督教団小倉徳力教会牧師)

松原 望
(日本基督教団鉄町教会牧師)

金谷めぐみ
(西南女学院大学講師)

楊 周漢
(折尾愛真短期大学宗教主事)

大原 高久
(日本同盟基督教団支援牧師)

鮫島 則雄
(日本バプテスト連盟門司港キリスト教会)

児玉 一郎
(日本バプテスト連盟北九州キリスト教会牧師)

豊島 集司
(日本福音自由教会北九州チャペル牧師)

古川 敬康
(西南女学院大学キリスト教センター長)

木本 正徳
(同窓会会長・日本バプテスト連盟)

泉 カヨコ
(日本基督教団八幡西教会会員)

森 純子
(宗像キリスト教会会員)

熊谷 真悟
(明日への希望集教会会員)

中尾 幸枝
(日吉台キリスト教会会員)

公開講演録「希望の方にお送りします」

1985年、開校以来の講演録です。部数に限りがありますので全てをお届けすることはできません。購読（無料）ご希望の方はお申込み下さい。

住所・氏名・教会名を記載の上、

FAX 093・692・8592

E-mail b_school1985@yahoo.co.jp

本校宛まで

開校前、1983年北米ウエスタン神学大学I・J・ヘッセルリング学長、斎藤剛毅（神学者・福岡女学院院長） 大野恵正（牧師・活水女子大・長崎外語大学教授） 大川従道師（現大和カルバリーチャペル主任牧師）を諸講師として招いた。

1985年 開学メッセージ「信仰という宝」

九州クリスチャンミッション マーク・G・マクセイ師

1985年「日本伝道の困難と希望」

カリフォルニア・パサデナ日本宣教センター所長

ニール・ブラウニング師

1985年「聖書を学ぶ喜び」

鎌倉雪ノ下教会牧師・東京神学教授 加藤常昭師

（かとう つねあき、1929年） 日本の神学者、説教家。

ハルピン出身。東京大学文学部哲学科卒業、1956年に東京神

学大学修了。1986年まで東京神学大学教授（実践神学）。日本基督教団若草教会、牛込弘方町教会、日本基督教団鎌倉雪ノ下教会牧師を経て、1997年から日本基督教団引退教師。現在は説教塾を全国に展開し、後進の説教者を育てている。

1987年「せめて10パーセント」

国際キリスト教大学教授 古谷安雄師

（ふるや やすお、1926年～2018年） 日本の神学者、牧師。プリンス頓神学校、東京神学大学、東京大学、自由学園最高学部、講師。東京女子大学宗教顧問。国際基督教大学教会牧師、チャプレンを務めた。国際基督教大学名誉教授、元聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科科長、教授。

1988年「福音信仰の確認―イエスと現代」

東京神学大学学長 松永希久夫師

（まつなが きくお、1993年～2005年） 日本の神学者、東京神学大学名誉教授。名古屋市生まれ。キリスト教徒の家庭に育つ。1956年国際基督教大学卒、東京神学大学大学院博士課程満期退学。神田盾夫に学ぶ。同大学助手、助教授、教授、学長を務める。

1989年「イスラエルの王ソロモンの知恵―人を生かし、人を育てる」

ノートルダム清心女子大学長 渡辺和子師

（わたなべ かずこ、1927年2月～2016年） キリスト教カトリック修道女（修道女名…シスター・セント・ジョン）。学校法人ノートルダム清心学園理事長。北海道旭川市生まれ。

1990年「旧約聖書から学ぶ」と

伝道者・聖書学者 関根正雄師

(せきね まゆお 1912年～2000年) キリスト教無教会主義の伝道者、旧約聖書研究者。東京生まれ。国文学者の関根正直は父。仏文学者の関根秀雄は兄、国文学者の関根慶子は姉、東京大学名誉教授で旧約学者・倫理学者の関根清三は息子。ヨーク大学教授で経済学者の関根友彦は甥。東京帝国大学法学部および文学部卒業。大学時代18歳の時に内村聖書研究会のペテロ組に入会を許され、内村鑑三の薫陶を受ける。1939年から1945年までドイツに留学、旧約の神についての論文で神学博士。1949年、塚本虎二から独立してキリスト教伝道に従事する。1964年、東京教育大学教授。従来の聖書訳とは異なる、岩波文庫版の読みやすい旧約聖書の翻訳を提供した。著作は『関根正雄著作集』全20巻にまとめられている。日本学士院会員。

1991年「聖書の権威」

フィラデルフィヤ改革派神学会議長

J・M・ボイス博士

1993年「古典と人生」

昭和電工名誉会長 鈴木治夫氏

(すずきはるお 1913年～2004年) は、日本の実業家。昭和電工社長・会長「私の履歴書」深夜叢書社 1991年、「古典と経営 いまビジネスマンに求められる教養・品性」ごま書房 1992年、「古典と仕事 聖書・源氏物語を読むことの意味」ごま書房 1992年、「晩年の日記」

1994年「老いと死」

哲学者 アルフォンス・デイケン師

(独:Alfons Deeken, 1932～2020年) ドイツオルデンブルク生まれのイエズス会司祭、哲学者。上智大学名誉教授。専門は、死生学。8人兄弟の3番目に生まれ、父は実業家。学校では成績優秀なため、校長にナチの指導者養成学校に推薦された。しかし、一家で反ナチス運動をしていたため推薦を断った。戦争中に日本26聖人の1人、ルドビコ茨木の伝記に出会い、日本の活動を願うようになった。ドイツの降伏時に祖父を眼前で連合軍の兵士に射殺された。

1994年「嵐の中の教会から学びつつ」

新教出版社社長 森岡 巖氏

森平太(もりへいた 1924～2012年) 日本のキリスト教神学者、新教出版社社長。高知県生まれ。本名・森岡巖。東京大学法学部卒業後、新教出版社に入社。『福音と世界』編集長、同社社長を務めた。著書「編集」服従と抵抗への道 ボンヘッファ―の生涯 新教出版社 1964(新教新書)

1995年「第二神殿時代の巡礼」

元イスラエル国宗教庁政務次官ラビ・イスラエル・リツペル氏

1995年「クリスチャンの選び・任命・約束」

太平洋放送協会会長 羽鳥 明師

(はとり あきら 1920～2017年) 群馬県高崎市で生まれる。東京文理科大学卒業。数年間の東京女子高等師範学校教師を経て日本福音派牧師となる。大衆伝道者太平洋放送協会顧問。1951

年から57年間にわたって、「世の光」をはじめラジオから聖書のメッセージを語り続けてきた。著書に「今日の知恵 明日の知恵」「今日の詩篇 明日の詩篇」、自叙伝「イエスはわがいのち」などがある。

1996年「我々はどこに行くのか」

筑波宇宙センター所長 菊山紀彦氏

(きくやまのりこ) 1940年〜 京都市生まれ。横浜国立大学、東北大学大学院修了後、日本原子力研究所で原子炉用金属材料の研究に従事。1985年、宇宙開発事業団に移り、種子島宇宙センター所長としてH・2ロケット1、2、3号機の打ち上げを成功に導く。

1997年「あすへの心」

元東宮侍従・教育評論家 浜尾 実氏

(はまおみのる) 1925〜2006年) 元東宮侍従・東宮傳育官子爵で、教師・教育評論家・皇室解説者。作家としては浜尾 実(読み同じ、新字体)の名義で著書を多く残した。

1998年「ここに真の愛がある」

日本福音クールセード主幹 本田弘慈師

(ほんだ こうじ) 1912〜2002年) 福井県丸岡町生まれ。福井商業高等学校卒業、日本大学文学部中退、関西聖書神学校卒業。沢村五郎らの薫陶を受ける。神戸中央教会主幹牧師、大衆伝道者、巡回伝道者、神学校教師。

1999年「信仰に生きるビジネスマン夫婦」

カネボウ薬品(株) 前会長三谷康人氏・君子夫人

(みたに やすと・きみこ) 1929年〜 広島県に生まれ 慶応義塾大学卒業、3度の降格と左遷を経験しながら1995年カネボウ薬品会長就任。堅くみことばに立ったビジネスマンは、人、大いなる神様の力によって、成功へと導かれた。三谷ご夫妻が語る共に歩むクリスチャン人生とは？

元老崔世雄牧師ご逝去

創立三十五周年記念誌発行にあたり、本校が開催してきたピスガ聖会講師、韓国仁川市にある仁川桂山中央メソジスト教会(会員7000名) 元老崔 世雄牧師に祝辞を依頼した。しかし、崔牧師は、今年6月にご逝去なさり、すでに帰らぬ人となっておられた。2007、2012、2014、2015年と来日なさり



聖会を導いて下ったこと想い出す。聖書の奥深かさをひも解き、一人ひとりに霊性の向上とキリスト者としての品性を身に付けるべき勧めは多くの人に慰めと励ましを与えた。

教会はご子息の崔 信成牧師が10年前から受け継いでおられると伺った。生前の主に在る交りに感謝したい。それと共に、故崔牧師の御奥様と、ご遺族様、そして教会の皆様の上に謹んで哀悼の意を表し、主なる慰めがありますこととお祈りします。

卒業者及び修了者

1987年3月卒

本科(通学)第1期生
 石田美鈴 柳屋 満 田坂恵子
 山本 保 長見治夫 土居利春
 桑鶴 邦 岡 昭雄 二木栄子
 松田淳子 中山賀恵 柴田常雄
 村田幸二 水落敏明 二宮美養子
 道脇泰子 村田厚子 西野照美
 赤星修一 金氏義憲 吉村美恵子
 加藤節子 児玉朝子 吉村 泉
 語学科ギリシヤ語 (24名)
 柳屋 満 山本 保 中山賀恵 (3名)

1988年3月卒

本科(通学)第2期生
 梶山綾子 安倍羊子 吉田 到
 矢田晴子 宮下朋恵 神田隆介
 桐原静子 権 輝善 森田美千代
 佐藤一彦 佐藤淑子 渡辺佐和子
 大平五月 原口和子 岡松弘子
 池田芙美子(1年修了) (16名)
 語学科ギリシヤ語
 柴田常雄 梶山綾子 森田美千代
 (3名)

1989年3月卒

本科(通学)第3期生
 小山 稔 中山淑子 宮本ヒロノ
 松崎 隆 糸山 恵 松岡竝之佑(6名)
 語学科ギリシヤ語
 小山 稔 松崎 隆 佐藤一彦 (3名)
 研究科第1期生
 加藤節子 佐藤一彦 村田幸二
 長見治夫 水落敏明 山本 保 (6名)

1990年3月卒

本科(通学)第4期生
 守田 章 村上隆三 田中好栄
 木下圭子 田仲貞子 島村教子
 進 知子 原田しず 宗 保子
 嶋田涼美 入江ひろみ 鈴木真理子
 名古屋道子 岡 清子 (14名)
 研究科第2期生
 原口和子 宮本ヒロノ 松岡竝之佑
 (3名)

1991年3月卒

本科(通学)第5期生
 泉カヨコ 上西創造 長田 満
 藤井カオル 福江幸子 岡嶋祝子
 渋谷裕子 (7名)
 研究科第3期生

森田美千代 名古屋道子 岡 清子 (3名)

1992年3月卒

本科(通学)第6期生
 青木順之介 家近宗男 中野信洋
 中村絢子 菅原寅夫 三浦和子
 宮崎千枝子 (7名)

本科(通信)第1期生

荒由美子 有吉しのぶ 石田一廣
 栗原英子 黒沢ハマ子 後藤ことみ
 桜井美津子 谷口佐和子 中尾幸枝
 並松由紀 宮川益子 森ちづ子
 山崎律子 (13名)
 研究科 第4期生
 泉カヨコ 長田 満 上西創造
 木下圭子 (4名)

1993年3月卒

本科(通学)第7期生
 小袋光子 金 敏子 林 直美
 松崎香代子 奥田伴子 住田美智子
 柳詰宏子 進 康子 (8名)
 本科(通信)第2期生
 山本 健 川上一義 木屋美代子
 京極義夫 高野キヨ子 平中ユミ子
 永松 亮(通信第第一期生) (7名)

研究科 第5期生

菅原寅夫 谷口佐和子 宮崎千枝子

(3名)

信徒説教者称号授与者

佐藤一彦 泉カヨコ (2名)

1994年3月卒

本科(通学) 8期生

木島るり子 金 玉順 坂田玲子

佐藤茂夫 関谷進 陳富子 山田紹子

(7名)

本科(通信) 第3期生

梅本富美子 鹿島 薫 中尾考一

西澤百合子 榎本扶美子 田村一馬

緒方裕子 山本時夫 吉田久美子

(第6期生・1年修了) (9名)

研究科第6期生

青木順之介 小袋光子 金 敏子

林 直美 柳詰宏子 (5名)

1995年3月卒

本科(通学) 第9期生

石松治子 内田綏子 瓜生正彦

坂口馨子 全 玉子 平野美和子

福本由美子 増田嘉子 山本昌子(9名)

本科(通信) 第4期生

石橋貞男 池田 巨 大野シゲ子

中垣久美子 三好幸子 物井麗子

山下依子 (7名)

研究科 第7期生

木島るり子 佐藤茂夫 関谷進 (3名)

信徒説教者称号認定者

青木順之介 小袋光子 村田幸二(3名)

1996年3月卒

本科(通学) 第10期生

重井淑子 下崎清治 田中一利

早川高子 藤田忠尚 森田義頼 (6名)

高田高子(第10期1年修了)

本科(通信) 第5期生

磯貝隆行 稲葉 一 加藤洋子

近藤ヤス子 寺本ユキ

ひろみ・トンプソン (6名)

研究科第8期生

内田綏子 中尾幸枝 平野美和子

福本由美子 森 ちづ子 山本昌子(6名)

信徒説教者称号認定者

上西創造 木島るり子 佐藤茂夫(3名)

1997年3月卒

本科(通学) 第11期生

浅井浩史 田村由比子 原田康次

福本久勝 藤本敏子 村本静雄

山本和子 吉崎信子(通信5期生)(9名)

本科(通信) 第6期生

和子・ピーターソン(第5期生)

一ノ瀬穂積 奥村すず子 鈴木 忠

李 点淑 和子・ワイズ(通信5期生一年修了)

船津鶴子(通信6期生一年修了) (6名)

研究科第9期生

池田 巨 重井淑子 田中一利 早川高子

藤田忠尚 二木栄子 森田義頼 (7名)

信徒説教者称号認定者 中尾幸枝(1名)

1998年3月卒

本科(通学) 第12期生

安東邦明 加藤 汎 木本正徳

古恵良直子 徳永高明 中村よしゑ

福田 信 (7名)

本科(通信) 7期生

鷺見留津子(通信第6期生) 井上マサヨ

小野喜美枝 片岡健一 近藤尚子

庭田佐代里 長谷川洋一 廣瀬直子

堀江こと (9名)

研究科10期生

福本久勝 藤本敏子 村本静雄 (3名)

信徒説教者称号認定者 池田 巨(1名)

1999年3月卒

本科(通学) 第13期生

衛藤文子 岡雅子 岡村照子 室 直良

(4名)

本科（通信）第8期生

秋澤孝子 浅尾勝哉 大門眞子

西水洋子 芳賀幸恵 平中聖治

堀口貴美 真崎恵子

研究科第11期生

小山 稔 木本正徳 徳永高明

真角貞行

信徒説教者称号認定者

藤本敏子 村本静雄

2000年3月卒

本科（通学）14期生

江藤裕子 中尾良秀 広石光栄

山本基功旺

本科（通信）第9期生

千葉由美 中尾朝子

研究科第12期生 西水洋子

信徒説教者称号認定者

徳永高明 真角貞行

2001年3月卒

本科（通学）第15期生

鬼塚賀津子 小林淑子 谷恵子

野村直美

本科（通信）第10期生

伊東洋子

研究科第13期生

広石光栄 室 直良 秋澤孝子

千葉由美

信徒説教者称号認定者 西水洋子（1名）

2002年3月卒

本科（通学）第16期生

武 初枝

中込己一郎（第17期生1年修了）（2名）

本科（通信）第10期生

飯島秀剛

研究科 第14期生

鬼塚賀津子 野村直美

専攻科 第1期生 村本静雄

2003年3月卒

本科（通学）第17期生

宮村芳子 吉永清子

本科（通信）第11期生

加藤良子 城本幸子 屋敷田真理子

信徒説教者称号認定者 山本 保（1名）

2004年3月卒

本科（通学）第18期生

金 貞子 小林貴子 佐々木志美

末益育子 立石才子

本科（通信）第12期生

島田貴子 戸辺愛子

高橋偕恵（第11期生）

小島信男（第10期生）

2005年3月卒

本科（通学）第19期生

石橋由美子

本科（通信）第13期生

山本敬子

研究科第15期生

末益育子

専攻科第2期生

広石光栄 鬼塚賀津子

2006年3月卒

本科（通学）第20期生

池 芙美子 熊谷真悟

2007年3月卒

本科（通学）第21期生

鬼頭幸枝

研究科第16期生 小林淑子

2008年3月卒

本科（通学）第22期生

増田 真

本科（通信）第14期生

甲斐 絢

研究科第17期生
熊谷真悟 鬼頭幸枝

(2名)

寺田京子(聴講生修了) 原 順子(2名)

2009年3月卒

研究科第18期生

増田 真

(1名)

本科(通学)第26期生
大門起代子 廣川和子

(2名)

信徒説教者称号認定者 熊谷真悟(1名)

専攻科第3期生 末益育子

(1名)

阿部栄子
研究科第20期生 石黒晴恵

(1名)

2010年3月卒

本科(通学)第23期生

古賀聡子

(1名)

本科(通学)第27期生
井上千鈴 田畑 実 高瀬紀子

(3名)

本科(通信)第15期生

佐々木司

(1名)

研究科第21期生 廣川和子

(1名)

研究科第19期生

増田 真 山添泰子

(2名)

2015年3月卒

信徒説教者称号認定者 末益育子(1名)

瓜生美智子

(1名)

2011年3月卒

本科(通学)第24期生

長谷川しのぶ

(1名)

2016年3月卒

信徒説教者称号認定者 増田 真(1名)

力丸千鶴子

(1名)

2012年3月卒

本科(通学)第25期生

石黒晴恵

(1名)

研究科第22期生
井上千鈴 杉本和彦

(2名)

信徒説教者称号認定者

本科(通信)第16期生

石黒晴恵

(1名)

2017年3月卒

本科(通学)第28期生

衛藤照子

(1名)

信徒説教者称号認定者

廣川和子

(1名)

2018年3月卒

本科(通学)第29期生

森純子 岩井加奈子 清杉 輝

(3名)

研究科第23期生 緒方裕子

2019年3月卒

本科(通学)第30期生

藤原哲治 三瀬貴子

(2名)

研究科第24期生

森 純子 岩井加奈子

(2名)

2020年3月卒

研究科第25期生

三瀬貴子 藤原哲治

(2名)

信徒説教者称号認定者

森 純子

(1名)

ギリシヤ語基礎

岩井加奈子 鬼塚賀津子 石黒晴恵

末益育子 森 純子 (5名)

入学者及び聴講生出身教会名

北海道

日本キリスト教会札幌北一条教会

千葉県

日本キリスト教会南柏教会

東京都

久遠キリスト教会

日本キリスト教団深沢教会

埼玉県

日本バプテスト連盟新所沢バプテスト教会

神奈川県

日本キリスト教会恵泉教会

日本キリスト教会鶴見教会

愛知県

日本キリスト教会名東教会

京都府

日本バプテスト連合宇治バプテスト教会

日本アッセンブリーズ伏見教会

大阪府

日本キリスト教会大阪姫松教会

単立千里山キリスト教会

日本キリスト教団金剛教会

滋賀県

和光新エルサレム教会

兵庫県

日本キリスト教会神戸湊西教会

日本キリスト教会池田教会

島根県

日本基督教団松江教会

高知県

日本キリスト教会高知旭教会

香川県

日本バプテスト教会高松常盤町キリスト教会

山口県

日本キリスト教団宇部緑橋教会

日本バプテスト連盟宇部バプテスト教会

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団宇部神

召キリスト教会

日本キリスト教団長府教会

日本キリスト兄弟団新下関教会

日本キリスト教会下関教会

日本福音ルーテル下関教会

日本キリスト教団下関教会

日本バプテスト連盟下関バプテスト教会

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教

団下関シオン教会

日本キリスト教団下関安岡伝道所

日本キリスト教団下関彦島教会

日本キリスト兄弟団山の田福音教会

日本キリスト教団小月教会

大分県

日本キリスト教会大分中央教会

北九州市内

日本キリスト教団北九州復興教会

日本キリスト教団北九州復興教会曾根集会所

日本キリスト教会小倉教会

日本福音教会小倉南キリスト教会

日本バプテスト連盟シオン山バプテスト教会

日本ナザレン教団小倉ナザレン教会

日本バプテスト連盟小倉キリスト教会

日本聖公会小倉インマヌエル教会

日本イエス・キリスト教団小倉教会

日本キリスト教団東篠崎教会

在日大韓キリスト教会小倉教会

日本キリスト教団小倉徳力教会

深沢教会エクレシア企救伝道所

日本バプテスト連盟春ヶ丘バプテスト教会

日本バプテスト連盟南小倉バプテスト教会

日本バプテスト連盟企救バプテスト教会

福音自由教会北九州コミニティチャペル

日本バプテスト連盟富野バプテスト教会

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教

団北九州シオン教会

北九州リバイバルチャーチ

日本バプテスト連盟門司港キリスト教会

日本キリスト教団門司大里教会

単立北九州福音センター

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教

団小倉シオン教会

日本キリスト教団門司教会

日本バプテスト連盟枝光バプテスト教会

カトリック天神教会

カトリック黒崎教会

救世軍八幡小隊

日本キリスト教団八幡鉄町教会

日本ナザレン教団八幡教会

日本キリスト教団八幡西教会

日本バプテスト連盟八幡キリスト教会

日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会

在日大韓キリスト教会折尾教会

日本バプテスト連盟折尾バプテスト教会

単立日吉台キリスト教会

独立折尾キリスト教会

日本キリスト教会折尾伝道所

日本バプテスト連盟光キリスト教会

日本バプテスト連盟若松バプテスト高須伝道所

日本キリスト教団戸畑教会

日本バプテスト連盟戸畑バプテスト教会

日本キリスト教団若松教会

明日への希望集会

北九州希望の光キリスト教会

福岡県

遠賀キリスト教会

日本バプテスト連盟芦屋キリスト教会

日本キリスト教団東郷教会

日本キリスト教団赤間教会

日本アドベント・キリスト教団古賀五楽

ヶ丘キリスト教会

日本バプテスト連盟中間バプテスト教会

日本バプテスト連盟飯塚シオンキリスト教会

日本ナザレン教団飯塚ナザレン教会

日本バプテスト連盟直方バプテスト教会

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団直方クリスチャンセンター

福岡新生キリスト平尾台伝道所

日本キリスト教団行橋教会

日本バプテスト連盟荏田伝道所

日本キリスト教会志免教会

日本キリスト教会福岡筑紫野教会

日本キリスト教会久留米教会

日本キリスト教会柳川教会

六本松キリスト福音教会前原伝道所

日本キリスト教団前原教会

九州福音フェローシップ箱崎キリスト福音教会

日本福音ルーテル博多教会

日本イエスキリスト教団鳥栖伝道所

プレイズランド祈りの家

単立宗像キリスト教会

熊本県

日本キリスト教団川内教会

日本キリスト教団熊本城東教会

木山キリスト教会

佐賀県

日本キリスト教会佐賀めぐみ教会

日本イエスキリスト教団鳥栖伝道所

長崎県

日本キリスト教会島原教会

日本キリスト教会長崎伝道所

日本キリスト教会島原教会

日本キリスト教会長崎伝道所

アメリカ合衆国

日米合同教会

北米ホーリネス教団

サンデーブル日系人キリスト教会

ファーストバイブル・サンファナンドバレー教会

ジャパニーズ・アメリカン・クリスチャンチャペル

パラグアイ共和国

パラグアイ自由メソジスト教会

大韓民国

ハナロ教会

オーストラリア連邦

チャッツウッド・シドニー教会

ブラジル連邦共和国

ホザナ福音教会

編集後記

コロナ災禍で生活様式が変わった。感染症という病、先が見えないので私たちは不安の中に心は揺らぐ。このような時であるからこそ人の評価が、ある意味人間の尊厳が試される。いつの時代も危機はあった。今こそ毅然とした態度で究極のやさしさを持って人に接しようではないか。強い心と働きが出来るよう、祈りたい。



宣教ホームピスガ建設、祈りに支えられて進む

今年、本校は創立 35 周年を迎えています。福音主義に立つ恒久的信徒聖書学校として、誠に小さな働きですが、今日まで継続されてきましたのは、神様の恩寵と皆様方のご支援とご加禱のおかげでありますこと深い感謝を申し上げます。

1985 年、創立当時に福音宣教のために 3 つの素朴な祈りがなされました。第 1 は「聖書学校の設立」、第 2 は「海外宣教」、第 3 は「宣教ホームピスガ建設」でした。毎月第 1 金曜日、実現のために、本校関係者及び同窓会幹事の皆様と共に祈り続けています。

記録によりますと、2000 年 5 月 27 日、「宣教ホームピスガ建設の祈り」は、4 名(青木順之助、鈴木真理子、泉カヨ子、山口晶久)の方々と始まりました。2005 年、学校創立 20 周年記念事業として建設用地取得の募金が始動され、2011 年 12 月、JR 鹿児島本線水巻駅から徒歩 2 分利便性環境良好の土地 598,60 m²を購入。2014 年、祈りから 14 年目入り建設が現実となりました。この事業は、神様から私共に託された使命であることを確信し、信仰をもって建設を着手しました。2014 年 3 月、建設定礎式。同年 4 月、福岡県より許可が下り建設工事開始。そして、2016 年 10 月に、関係者が集い第 1 期建設工事完了感謝礼拝を捧げました。

何もない所から、ただ神様の憐みとみ言葉の真実を堅く信じ今日までまいりました。思い返しますと、宣教ホーム建設を心待ちにし、このために祈り捧げられましたが建設を見ず、すでに天上に逝かれた梶山綾子様、菅原寅夫様、青木順之助様、岡 昭雄様、安倍正則様、米国の栗原三郎様。また 2014 年 3 月の建設定礎式にお元気なお姿でご出席下さいました、本校 2 代校長故森上洋介先生。皆様の信仰によるご愛と献身的なお働きを思い起こします。

まだまだ建設途上です。必要資金が満たされている訳ではありません。現在、銀行借入金返済途中です。私たちの志と願いを覚えて下さり、引き続きお祈りに加えて下さりご支援を賜わりますならば幸いです。

2020 年 12 月

北九州信徒聖書学校 理事長 山口 晶久
校 長 野村 幸生



2014年3月定礎式

設置の概要

- (1) 趣 旨 神への敬虔な思いを持って、一人ひとりに謙虚に仕える生活共同体を実現する多目的建物（家）を目指す。
- (2) 目 的 一人暮らしや夫婦暮らしの方で、家庭環境や住宅事情等で、その生活が不安な 60 歳以上の方に入居していただき、利用者の自立を尊重し明るく健康な家庭生活の場を提供する。

第1期工事概要

- (1) 名 称 宣教ホームピスガ 設置代表者 山口 晶久
- (2) 建 設 地 福岡県遠賀郡水巻町頃末南 3 丁目 4 8 - 1 土地面積 598.60 m² (181.07 坪)
- (3) 建 物 木造平屋 第1期工事施工面積 121.75 m² (36.84 坪)
①床面積 89.25 m² (27.00 坪) + ②吹き抜け面積 32.50 m² (9.84 坪)
多目的室 (礼拝堂・集会所)・祈祷室、管理室 (居住生活空間 1 名)、
トイレ、洗面脱衣室、浴室等
- (4) 設 計 株式会社夢企画 北九州市小倉北区足原 1 - 1 3 - 2
- (5) 施 工 株式会社コモリ建設 北九州市八幡西区熊西 1 - 1 2 - 1

資金計画 (概算)

◎収 入		◎支 出	
(1) 献 金	1,100 万円	(1) 土地購入諸費	1,862 万円
(2) 募金額	900 万円	(2) 基礎工事・建築費	2,367 万円
(3) <u>ピスガ建設債</u>	<u>2,500 万円</u>	(3) 設計・監理費	150 万円
	計 4,500 万円	(4) <u>諸経・備品費</u>	<u>121 万円</u>
			計 4,500 万円

募 金 額 900 万円（銀行借入返済金）第1期工事

期 間 2014 年 7 月～

送金方法 北九州信徒聖書学校「宣教ホームピスガ建設」郵便振替 福岡 01750-4-29786

2019 年 11 月から 2020 年 10 月までの献金額は 54 口（個人・教会）計 2,168,000 円でした。
尊いご支援に深い感謝を申し上げます。

ご芳名 野村幸生 宗 保子 正野眞宏 小野喜美枝 野口和子 滝田新二・理恵子
宮川益子 森田美千代 佐々木志美 増田嘉子 井上マサヨ 山本基功旺・和子
森上悦子 小林貴子 宮崎千枝子 桐原静子 石田美鈴 木本正徳 名古屋道子
山口晶久 宮崎博子 柳 点淑 北九州信徒聖書学校同窓会 明日への希望集会
(敬称略・受付順)



2016 年 10 月第1期建設完了感謝式

完成予定図



← 第2期工事＋第1期工事 →